

中央公民館大規模改修工事
(建築工事)

設 計 図

株式会社 手島建築設計事務所

建 築

図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A3)
	【意匠】		A-51	現況 ホール断面詳細図	1/20・1/30・1/100		【構造】	
A-01	図面リスト	-	A-52	改修後 ホール断面詳細図	1/20・1/30・1/100		(ホール天井工事)	
A-02	特記仕様書 (1)	-	A-53	ホール 部分詳細図	1/50・1/20	S-01	構造設計標準仕様書	-
A-03	特記仕様書 (2)	-	A-54	A階段 平面詳細図	1/100	S-02	鉄骨構造標準図(1)	-
A-04	特記仕様書 (3)	-	A-55	A階段 断面詳細図	1/100	S-03	鉄骨構造標準図(2)	-
A-05	特記仕様書 (4)	-	A-56	A階段 手摺廻り 詳細図	1/10・1/2	S-04	鉄骨構造標準図(3)	-
A-06	付近見取図・配置図	1/1000・1/400	A-57	B階段 詳細図	1/100	S-05	ブレース接手標準図	-
A-07	仕上表 (1)	-	A-58	C階段 詳細図	1/50・1/30・1/2	S-06	既存構造図 キャットウォーク伏図	1/100
A-08	仕上表 (2)	-	A-59	現況 屋外階段 詳細図	1/100・1/40	S-07	既存構造図 Z5 伏図	1/100
A-09	現況 1階平面図	1/200	A-60	改修後 屋外階段 詳細図	1/100・1/40	S-08	既存構造図 ブドウ棚・ZR 伏図	1/100
A-10	現況 2階平面図	1/200	A-61	現況 建具キープラン	1/200	S-09	改修後 Z5 伏図 (天井下地準構造)	1/100
A-11	現況 3階平面図	1/200	A-62	改修後 建具キープラン	1/200	S-10	改修後 Z5 伏図 (天井準構造受け材)	1/100
A-12	現況 4階平面図	1/200	A-63	建具表 (1)	1/100	S-11	改修後 ホール天井断面図	1/40
A-13	改修後 1階平面図	1/200	A-64	建具表 (2)	1/100	S-12	改修後 ホール天井断面詳細図(1)	1/20
A-14	改修後 2階平面図	1/200	A-65	サインキープラン	1/200	S-13	改修後 ホール天井断面詳細図(2)	1/20
A-15	改修後 3階平面図	1/200	A-66	サイン詳細図	1/5・1/15	S-14	改修後 ホール天井断面詳細図(3)	1/50
A-16	改修後 4階平面図	1/200	A-67	各断面詳細図 (現況・改修後)・廊下手摺詳細図	1/20		(その他工事)	
A-17	現況 屋根伏図	1/200	A-68	家具キープラン	1/30	S-15	改修特記仕様書(1)	-
A-18	現況・改修後 立面図	1/300	A-69	撤去家具図(1)	-	S-16	改修特記仕様書(2)	-
A-19	現況 断面図	1/200	A-70	撤去家具図(2)	-	S-17	鉄筋コンクリート造 配筋標準図(1)	-
A-20	改修後 断面図	1/200	A-71	新設家具図(1)	1/30	S-18	鉄筋コンクリート造 配筋標準図(2)	-
A-21	現況 矩計図	1/100	A-72	新設家具図(2)	1/30	S-19	鉄筋コンクリート造 配筋標準図(3)	-
A-22	改修後 矩計図	1/100		(内壁劣化改修図)		S-20	鉄筋コンクリート造 配筋標準図(4)	-
A-23	現況 1階天井伏図	1/200	A-73	1階 内壁劣化改修図	1/200	S-21	鉄骨標準図	-
A-24	現況 2階天井伏図	1/200	A-74	2階 内壁劣化改修図	1/200	S-22	改修詳細図(1)	1/60
A-25	現況 3階天井伏図	1/200	A-75	3階 内壁劣化改修図	1/200	S-23	改修詳細図(2)	1/60・1/200
A-26	改修後 1階天井伏図	1/200	A-76	4階 内壁劣化改修図	1/200	S-24	改修詳細図(3)	1/30
A-27	改修後 2階天井伏図	1/200		(ホール天井工事)				
A-28	改修後 3階天井伏図	1/200	A-77	改修後 ホール天井伏図	1/200			
A-29	現況 第1・第2研修室 詳細図	1/100	A-78	ホール天井母屋・SZG支持材割付図	1/200			
A-30	改修後 第1・第2研修室 詳細図	1/100	A-79	ホール天井下地割付図	1/200			
A-31	現況・改修後 第3研修室 詳細図	1/100	A-80	改修後 ホール断面図	1/100			
A-32	現況・改修後 第4研修室 詳細図	1/100	A-81	改修後 ホール断面詳細図(1)	1/6			
A-33	現況 第5研修室 詳細図	1/100	A-82	改修後 ホール断面詳細図(2)	1/6			
A-34	改修後 第5研修室 詳細図	1/100	A-83	改修後 ホール断面詳細図(3)	1/6			
A-35	現況・改修後 第6研修室 詳細図	1/100	A-84	改修後 ホール断面詳細図(4)	1/6			
A-36	現況・改修後 第7研修室 詳細図	1/100	A-85	改修後 ホール断面詳細図(5)	1/6			
A-37	現況 楽屋 詳細図	1/100	A-86	準構造化天井用下地SZG標準納まり図 (参考図)	1/10			
A-38	改修後 楽屋 詳細図	1/100		(その他)				
A-39	現況 1階トイレ詳細図	1/100	A-87	エレベーター改修図	1/10			
A-40	改修後 1階トイレ 詳細図	1/100	A-88	現況 荷揚リフト部分詳細図	1/100			
A-41	現況 2階トイレ、脱衣室、浴室 詳細図	1/100	A-89	改修後 荷揚リフト部分詳細図	1/100			
A-42	改修後 2階トイレ、脱衣室、浴室 詳細図	1/100	A-90	客席姿図 (参考図)	1/20			
A-43	現況 展開図(1) 1階廊下	1/150	A-91	仮設計画図(1)	1/400			
A-44	現況 展開図(2) 1階廊下・4階映写室	1/150	A-92	仮設計画図(2)	1/400			
A-45	現況 展開図(3) 2階廊下	1/150	A-93	防水改修詳細図	1/30			
A-46	改修後 展開図(1) 1階廊下	1/150						
A-47	改修後 展開図(2) 1階廊下・4階映写室	1/150						
A-48	改修後 展開図(3) 2階廊下	1/150						
A-49	現況 ホール平面詳細図	1/150						
A-50	改修後 ホール平面詳細図	1/150						

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号		日付	原案	部属	担当	製図
		A/01	意・構・電・設					
図名	図面リスト	縮尺	-	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一括同業和事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広			

7. とい
 8. アルミニウム製窓木
 9. 施工
 保証年限
 11. その他の防水

7. といの材質等 (研ぎ磨きビニル管) (3.8.2)
 防露材のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆のもの ()
 調整剤といの防露性は改修後(表3.8.4)による。 (3.8.3)
 8. アルミニウム製窓木 部材の種類 250形・300形・350形 () (3.9.2)
 表面処理 ※ A-B-1種又はB-B-1種
 構造体断熱システム ※ 無・有
 9. 施工 次のとおりとする。
 (1) 延べ面積が50㎡以上の建築物
 (2) 特殊な用途等に係る建築物で、
 高度な防水技術を要するものと
 監督官が承認する場合
 (3) (1)・(2)以外の場合
 防水施工業者は、建設業法第3条の許可(防水工事)を受けている者から選ぶこと。
 保証年限 防水保証年限は、引渡の日から公表のとおりとする。
 請負者については防水工事業者が、(一社)福岡県防水工事業協会会員の場合は、
 請負業者、防水工事業者、(一社)福岡県防水工事業協会の連名保証とする。
 その他の場合は、請負業者、防水工事業者、製造メーカーの連名保証とする。
 保証年限(年) 防水の種類
 10 アスファルト防水(A-1,2,3, M-1,2,3, B-1,2,3, D-1,2,3,4, D-1,2)
 改質アスファルト防水(AS-TL2,3,4, AS-JL2, AS-TL, AS-JL)
 合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F1,2,3,4,5,6,7,8,9, S-M1,2,3, S-L1,2, S-LM1,2)
 塗膜防水(X-1,2)
 7 合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F1)3x4(7,12,2m)

1. 施工調査数量 調査範囲 ※ 図示 () (1.5.2)
 調査項目 ※ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の
 挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
 調査方法 ※ 図示 ※ 目視及び打診 ()
 調査報告書 ※ () 部を監督官に提出する。 (1.5.3)
 補修方法 ※ 図示 () (1.5.3)
 3. ひび割れ部改修方法
 ・樹脂注入法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.4)

材 料	種 別	製 造 所
エポキシ樹脂 (・低粘度型・中粘度型)		JIS A6024の規格品
・数層型エポキシ樹脂		()

 注入工法の種類
 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔 ※200~300mm間隔 ()
 エポキシ樹脂の注入量 ()
 ・手動式エポキシ樹脂注入法
 ・機械式エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50~100
0.3~0.5	100~200
0.5~1.0	150~200

 エポキシ樹脂の注入量 ()

4. 欠損部改修方法
 ・リカットソー材充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

材 料	種 別	備 考
ソーリング用材料 JIS A5785	※1成分別又は2成分別 ポリウレタン系ソーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う・行わない
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	製造所 ()

 ・ソール工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

材 料	種 別	製 造 所
・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()

 ・充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

材 料	種 別	製 造 所
エポキシ樹脂モルタル JIS A6024	()	()
・ポリマーセメントモルタル	()	()

1. 施工調査数量 調査範囲 ※ 図示 () (1.5.2)
 調査項目 ※ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動
 の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
 ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。
 ※浮き部分を壁面に表示する。
 調査方法 ※ 図示 ※ 目視及び打診 ()
 調査報告書 ※ () 部を監督官に提出する。 (1.5.3)
 補修方法 ※ 図示 () (1.5.3)
 3. ひび割れ部改修方法
 ・樹脂注入法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.4)

材 料	種 別	製 造 所
エポキシ樹脂 (・低粘度型・中粘度型)		JIS A6024の規格品
・数層型エポキシ樹脂		()

 注入工法の種類
 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔 ※200~300mm間隔 ()
 エポキシ樹脂の注入量 ()
 ・手動式エポキシ樹脂注入法
 ・機械式エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50~100
0.3~0.5	100~200
0.5~1.0	150~200

 エポキシ樹脂の注入量 ()

4. 欠損部改修方法
 コア抜き確認 ・実施する ※実施しない
 コア抜き取り回数 ひび割れ長さ ()
 ひび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個
 コアの形状 径50mm 深さ70mm
 抜き取り部の補修方法 ()
 ・リカットソー材充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

材 料	種 別	備 考
ソーリング用材料 JIS A5785	※1成分別又は2成分別 ポリウレタン系ソーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う・行わない
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	製造所 ()

 ・ソール工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

材 料	種 別	製 造 所
・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()

 ・充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

材 料	種 別	品 名・規格等
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修後(表4.2.2)による再修補目地材	塗膜25mmを超える場合は補修 ※行う・行わない・図示

 ・モルタル塗替え工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.9)
 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
 ※図示 () (4.1.4)(4.10~15)(表4.4.3,4)

5. 浮き部改修方法

改修工法の種類 (モルタルを除去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充填量 又は注入量 (㎥/㎡)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※25
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※20
・アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※13	※20	※20
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※50

 アンカーピン (4.2.2)
 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)・呼び径4mmの丸棒で金ねじ切り加工したもの
 注入口付アンカーピン (4.2.2)
 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)・呼び径外径6mm

材 料	注 入 量 (㎡/箇所)	製 造 所
・固定用エポキシ樹脂高粘度型	25 ()	JIS A6024の規格品
・注入用エポキシ樹脂	25 ()	JIS A6024の規格品
・ポリマーセメントスラリー	50 ()	()

 ・浮き部分除去モルタル塗替え工法
 厚さ ※10 ()
 ※検査
 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督官に提出し、承諾を受ける。

1. 施工調査数量 調査範囲 ※ 図示 () (1.5.2)
 調査項目 ※ 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
 ※タイルの割れ及び剥離部を壁面に表示する。
 ※浮き部分を壁面に表示する。
 調査方法 ※ 図示 ※ 目視及び打診 ()
 調査報告書 ※ () 部を監督官に提出する。 (1.5.3)
 補修方法 ※ 図示 () (1.5.3)
 3. ひび割れ部改修方法
 ・樹脂注入法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.4)

材 料	種 別	製 造 所
エポキシ樹脂 (・低粘度型・中粘度型)		JIS A6024の規格品
・数層型エポキシ樹脂		()

 注入工法の種類
 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔 ※200~300mm間隔 ()
 エポキシ樹脂の注入量 ()
 ・手動式エポキシ樹脂注入法
 ・機械式エポキシ樹脂注入法
 注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50~100
0.3~0.5	100~200
0.5~1.0	150~200

 エポキシ樹脂の注入量 ()

2. 調査のための
 破損部分の補修
 コア抜き確認 ・実施する ※実施しない
 コア抜き取り回数 ひび割れ長さ ()
 ひび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個
 コアの形状 径50mm 深さ70mm
 抜き取り部の補修方法 ()
 ・リカットソー材充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

材 料	種 別	備 考
ソーリング用材料 JIS A5785	※1成分別又は2成分別 ポリウレタン系ソーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う・行わない
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	製造所 ()

 ・ソール工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

材 料	種 別	製 造 所
・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()

 ・充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

材 料	種 別	品 名・規格等
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修後(表4.2.2)による再修補目地材	塗膜25mmを超える場合は補修 ※行う・行わない・図示

 ・モルタル塗替え工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.9)
 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
 ※図示 () (4.1.4)(4.10~15)(表4.4.3,4)

4. 欠損部改修方法
 ・タイル部分張替え工法 (4.1.4)(4.5.7)

材 料	種 別	備 考
・ポリマーセメントモルタル	()	()
・安群ソーリック樹脂	・エポキシ樹脂	()
・ポリウレタン樹脂	・ソリック樹脂	()

 ・タイル張替え工法 (4.1.4)(4.5.8)
 併修調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 (表4.5.1)

形 状	外部側に柱形のない場合	外部側に柱形のある場合
方向	柱の前後又は開口部上下及び 中間3~4m程度	柱の前後及び3~4m 程度
垂直方向	各側ごと打直目地の位置	
水平方向	各側ごと打直目地の位置	

 併修調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法 (4.5.8)

コンクリートの打直目地及びひび割れ	誘発目地
幅20mm以上、深さ10mm以上	幅10mm以上、深さ10mm以上
上記以外の箇所の目地	幅10mm以上、深さ10mm以上

 目地等の形状は、凹凸、広狭等のないものとする。
 タイル張り工法と張付け材料の塗布 (表4.5.3)

タイルの種類	タイルの大きさ	工 法	張り付け材料	備考
外装壁タイル	小口タイル	壁面張り	モルタル	5~8 4~7 1枚ずつ張り 付ける
	二丁目はタイル以下	改良層上げ張り 改良圧着張り	モルタル	下地厚4~6 タイル厚3~4
ユニットタイル	25mm角を越え 小口未満	マス状張り	モルタル	3~4 3~5 ユニットごと に張り付ける

 タイルの種類 (4.2.2)(4.5.7)(4.5.8)

施工箇所	形状・寸法	まじりの質	うわぐすり	役物	色	見本	備考
		1種	1種	1種	1種	1種	

 役物 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、昇馬)の役物は一体成形とする。
 タイルの見本焼き ※行わない・行う
 タイルの試験張り ※行わない・行う

5. 浮き部改修方法

改修工法の種類 (モルタルを除去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充填量 又は注入量 (㎥/㎡)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※25
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※20
・アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※13	※20	※20
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※50

 アンカーピン (4.2.2)
 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)・呼び径4mmの丸棒で金ねじ切り加工したもの
 注入口付アンカーピン (4.2.2)
 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)・呼び径外径6mm

材 料	注 入 量 (㎡/箇所)	製 造 所
・固定用エポキシ樹脂高粘度型	25 ()	JIS A6024の規格品
・注入用エポキシ樹脂	25 ()	JIS A6024の規格品
・ポリマーセメントスラリー	50 ()	()

 ・浮き部分除去モルタル塗替え工法
 厚さ ※10 ()
 ※検査
 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督官に提出し、承諾を受ける。

6. 目地改修方法
 ・目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.5.16)
 既製調整モルタル(目地材料) 製造所 ()
 ・併修調整目地改修工法 (4.1.4)(4.5.16)
 ソーリング用材料 種類 ※改修後(表3.7.1)による。
 1. 施工調査数量 調査範囲 ※ 図示 () (1.5.2)
 調査項目 ※ 仕上げ部材等の劣化状態、剥離部等を壁面に表示する。
 ※既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。
 調査方法 ※ 図示 ※ 目視及び打診 ()
 調査報告書 ※ () 部を監督官に提出する。 (1.5.3)
 補修方法 ※ 図示 () (1.5.3)
 2. 調査のための
 破損部分の補修
 既製調整モルタルの除去、下地処理の工法 (4.6.3)(表4.6.2~4.6.5)

工 法	処 理 順 序	下 地 処 理
① 既存塗膜除去(30MPa程度以上)	※既存仕上げ部全量・全面除去	
② ランダー工法(10MPa程度以上)	※既存仕上げ部全量・全面除去	
③ 塗膜剥離工法	※既存仕上げ部全量・全面除去	
④ 専用の専用工具ケレン工法	※既存仕上げ部全量・全面除去	
⑤ 専用の専用工具ケレン工法	※既存仕上げ部全量・全面除去	
⑥ 不気工法	※上記処理範囲以外の既存塗膜全量	

 塗料の種類 製造所 ()
 下地調整材
 ・防水形仕上げ材主材を使用
 ・ポリマーセメントモルタル 製造所 ()

1. 施工調査数量 調査範囲 ※ 図示 () (1.5.2)
 調査項目 ※ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動
 の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
 ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。
 ※浮き部分を壁面に表示する。
 調査方法 ※ 図示 ※ 目視及び打診 ()
 調査報告書 ※ () 部を監督官に提出する。 (1.5.3)
 補修方法 ※ 図示 () (1.5.3)
 2. 調査のための
 破損部分の補修
 コア抜き確認 ・実施する ※実施しない
 コア抜き取り回数 ひび割れ長さ ()
 ひび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個
 コアの形状 径50mm 深さ70mm
 抜き取り部の補修方法 ()
 ・リカットソー材充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.5)

材 料	種 別	備 考
ソーリング用材料 JIS A5785	※1成分別又は2成分別 ポリウレタン系ソーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う・行わない
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	製造所 ()

 ・ソール工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.6)

材 料	種 別	製 造 所
・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()
・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024	()	()

 ・充填工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.7)

材 料	種 別	品 名・規格等
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修後(表4.2.2)による再修補目地材	塗膜25mmを超える場合は補修 ※行う・行わない・図示

 ・モルタル塗替え工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.9)
 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
 ※図示 () (4.1.4)(4.10~15)(表4.4.3,4)

4. 仕上仕材仕上げ (4.1.5)(4.2.2)(表4.2.3~6)

種類	呼び名	仕上の形状	工 法	備 考
・厚付け仕上仕材	・外装壁塗料SI	・砂壁状	・吹付け	・外装壁塗料C ・適用 ・適用しない
	・可とう形外装壁塗料SI	・砂壁状	・ローワー	
・厚付け仕上仕材	・外装壁塗料SI	・砂壁状	・吹付け	・外装壁塗料C ・適用 ・適用しない
	・可とう形外装壁塗料SI	・砂壁状	・ローワー	
・重層仕上仕材	・重層塗料CE	・凸凹処理	・吹付け	・外装壁塗料C ・適用 ・適用しない
	・可とう形重層塗料CE	・凸凹処理	・ローワー	
・可とう形改修用	・可とう形改修塗料CE	・平たん状	・吹付け	・外装壁塗料C ・適用 ・適用しない
	・可とう形改修塗料CE	・砂壁状	・ローワー	
・外装用塗膜材	・外装用塗膜材	・凸凹処理	・吹付け	・外装壁塗料C ・適用 ・適用しない
	・外装用塗膜材	・凸凹処理	・ローワー	

 ※ホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆のもの ()
 防火材料の指定 ※ 壁内の土及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。
 その他の材料
 セメント系下地調整材 JIS A6916規格品
 ポリマーセメントモルタル ※監督官の承認する製造所
 製造所 ()
 製造所 ()

① 改修工法 (5.1.3)
 ② アルミニウム製建具 (5.2.2~4)(表5.2.1)(表5.2.2)

種類	外部に面する建具	内部建具
・普通ツツ	・A種・B種・C種 ()	()
・防音ツツ	性能 ()	()
・耐震ツツ	性能 ()	()

 表面処理 ※ 図示による
 枠の見込み寸法 ※ 図示による
 3. 網戸 (5.2.3~4)
 ※ 外面納まりの可動式 ()
 網の材質 ※ 合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス製
 4. 樹脂製建具 (5.3.1)(表5.3.1)

種類	外部に面する建具	内部建具
・普通ツツ	・A種・B種・C種 ()	()
・防音ツツ	性能 ()	()
・耐震ツツ	性能 ()	()

 枠の見込み寸法 ※ 図示による
 ③ 調整建具 (5.4.2)
 樹脂製調整建具の性能値
 ※ 適用する (※A-3 ()・適用しない)
 窓枠のめり調整のめり付着量 ※ Z12又はF12 () (5.4.3)
 調整の厚さ ※ 「改修仕様」表5.4.2による・建具表による (5.4.4)
 ④ 調整製建具 (5.5.2)
 樹脂製調整建具の性能値 ※ 適用する (※A-3 ()・適用しない)・適用しない (5.5.2)
 ビニール被覆調整板 ※ 適用する・適用しない (5.5.3)
 カワー調整板 ※ 適用する・適用しない (5.5.3)
 召合わせ、縦小口包み板などの材質 ※ 鋼板・ステンレス鋼板 ()
 5. ステンレス製建具 (5.6.2~5)
 材質 ※ SUS304 ()
 仕上げ ()
 仕上げ加工 ※ 普通仕上げ・角出し仕上げ
 6. 建具用金物 (表5.7.1)(5.7.2~4)
 見本品を監督官に提出して承認を受ける。 (表5.7.1)(5.7.2~4)
 マスターキー ※ 製作する(※新規・既存に合わせる)・製作しない
 建具金物の種類

種 別	品 質 ・ 規 格
ソーリング確認	
光線照射	評価名簿による
フラクローザ	
ピョットピンジ	
ピンジクローザ	
フクロピンジ	評価名簿による

 9. 自動ドア開閉装置 (5.8.2~4)
 駆動装置の性能値
 引き戸用 ※ 「改修仕様」表5.8.1による ()
 引き戸(多機能トイレ)用 ※ 「改修仕様」表5.8.2による ()
 排出装置 ※ 「改修仕様」表5.8.3による ()
 戸の開閉方式 ※ 図示による ()
 排出装置の種類 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー
 ・ 光電センサー ・ 電波センサー
 ・ クラッシュセンサー ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ
 工事範囲 一次調整後は別途工事とし、開閉機構以降の二次調整は本工事を含む。

工事名称 中央公民館大規模改修工事
 図 名 特記仕様書(2)
 図 面 番 号 A/03
 意 構 電 設
 日 付 令和 8年 3月 19日
 1 級建築士事務所登録 福岡県 事務 登録 第 1-1149号
 株式会社 手島建築設計事務所
 1 級建築士 登録 大臣 第 380116号 野田 康広

- 10. 重量シャッター
- 11. 軽量シャッター
- 12. パネル
- 13. ガラス

横断による種類 (5.10.2~4)

・管理用 ・防火(・外壁用 ・屋内用) ・閉塞
シャッターケース(防火・閉塞以外の場合) ・設ける ・設けない (5.10.2)

開閉機構による種類 (表5.10.1)

※上部電動式(手動併用) 電源 ※ V kw以下(過電流保護装置付)
・上部手動式

耐風圧強度 ()

屋内用防火・閉塞シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・シャッター二段降下方式
落下防止装置 ・二重チェーン ・急降下制動装置 ・急降下停止装置
設置箇所は図示による

工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。(5.11.2~4) (表5.11.1)

開閉機構による種類 (5.11.2~4) (表5.11.1)

※手動式
・上部電動式(手動併用) 電源 ※ V kw以下(過電流保護装置付)
耐風圧強度 ()

スフットの形状 ※インナーローリング形 ・オーバーフリッピング形
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

セクション材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ (5.12.2)

ファイバークラスチック

開閉方式 ※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式

収納方式 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形
ガイドレール ※溶融鉛鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板(SUS304)

耐風圧強度 ()

13. ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示(建具表)による。(5.13.2)

ガラス留め具 (5.13.2(2)) (5.13.3)

建具の種類	材 質
アルミニウム製	※ウーリングH(SF-I) ・ グレインダグメット
鋼製・ステンレス製	※ウーリングH(SF-I) ・ ()
樹脂製	※グレインダグメット ・ ()

ただし、防火用は建築基準法に基づき個別認定品とする。

- 14. 既存床の撤去及び下地補修
- 15. 接着剤
- 16. ビニル床シート張り
- 17. ビニル床タイル張り

合成樹脂塗床材の除去工法 (6.2.2)

・機械的除去工法 ・目直し工法

壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジノール・ブチル及びフタル酸ジノール・エチルヘキシル等を含有しない難燃性の可塑剤を使用しない規格品とする。(6.8.2)

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (6.8.2)

材 質	種 類	記号	色別	厚さ	工法	特殊性能	備 考
ビニル床シート	◎発熱性のないもの ◎発熱性のあるもの	※F5	※無地	※25	※熱溶接 ◎熱溶接	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・耐油性 ・耐薬品性	

材 質	種 類	記号	色別	厚さ	工法	特殊性能	備 考
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル(半硬質) ・コンポジションビニル床タイル(硬質) ・モモニアスビニル床タイル ・帯電防止ビニル床タイル(覆膜タイプ) ・モモニアスビニル床タイル(パネル一体タイプ)	※300角	※2 ・() ・() ・()	※2 ・3 ・()	※2 ・() ・()	※2 ・() ・()	図示による

帯電防止ビニル床タイル(覆膜タイプ)の接着剤は粘着剤離形とし、製造所の指定する製品とする。

・防滑性床タイル ※図示による ()

15. ビニル幅木 (6.8.2)

材 質 ※軟質 ・硬質
厚さ ※2 ()
高さ ※φ90 ・75 ・100 ()

16. カーペット敷き (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

敷りじゅうたん

種別	巻 取 方	パイルの形状	色別	備 考
・A種	・フットロン	※カットパイル	※無地	・新加工品
・B種	・ダブルフェース	※ループパイル	・模様	・人体帯電防止
・C種	・アキスミスター	・()	※3以下	・()

下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)第2種2号(厚8)

タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

パイル形状	パイル長	工 法	備 考
・カットパイル	※5~7 ()	※全面接着工法	・人体帯電防止
・マルチレベルループ	※4~6 ()	・グリップ工法	※3kw以下 ()
・レベルループパイル	※4 ()		
・カット、ループ併用	・()		

タイルカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

種別	パイルの形状	寸法	厚さ	色別	電気抵抗
・一層	※ループパイル	※500角	※6.5	※無地	※値が低い
・二層	※カットパイル	・()	・()	・模様	・1.05Ω以下

- 18. 合成樹脂塗床
- 19. 防塵用塗料塗り
- 20. フローリング張り
- 21. 体育館用フローリング張り
- 22. 畳敷き

7. 合成樹脂塗床 (6.10.2)(6.10.3)(表6.10.3~7)

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ(※平滑・防滑) ・ 厚膜塗し仕上げ(※平滑・防滑)
・樹脂モルタル仕上げ(※平滑・防滑)	・ 平滑仕上げ

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

8. 防塵用塗料塗り

材 質 水性アクリル系樹脂塗料 (※無塵色 ())

仕上種類 コーティング(ローフー剛毛塗り)

塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上

9. フローリング張り (6.11.2~7)(表6.11.1~4)

種 別	種 類	工法及び寸法	厚さ・大きさ (mm)	塗 装
複合フローリング	※なら	※釘工法	厚さ 15 ・ 12	※塗床品
複合 ()	・ ()	・A種 ・B種 ※C種	幅 75 ・ 90	・無塗床品
単層 ()	・ ()	◎接着工法	長さ 以上	※図示による

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

10. 体育館用フローリング張り

樹 膠 ()

接着剤 ・ 醇酸ビニル系エマルジョン ・ エポキシ樹脂系

表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ()

張り付け ・ 下張り紙に接着剤で接着し、押し釘と釘打で止める

下張り紙 ・ 1.2mm以上(木製樹太) ・ 1.5mm以上(鋼製樹太)

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

厚さ ()

※別添工事特記仕様書による (表6.12.1)

- 23. セッコウボード及び合板張り
- 24. 紙管張り
- 25. タイル張り
- 26. 新熱材
- 27. 吸音材
- 28. ポリスチレンフォーム床下地材
- 29. ステンレスの表面仕上げ
- 30. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
- 31. 鉄鋼の亜鉛メッキ
- 32. 軽量鉄骨天井下地
- 33. 軽量鉄骨壁下地

(6.13.2)(6.13.3)

材 質	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考
◎おっころボード	◎地張り ・上張り	・突付け ・目直し ・継目処理工法	◎35 ・125 ・15	寸法 ※450×910 ・910×910
◎化粧セッコウボード	◎フーパーシヤ敷板 ・木目模倣(化粧材)	◎直張り ・突付け	◎95 ・95	寸法 ※450×910 ・910×910 専断板 下地材付き
◎無石綿いれ紙カルシウム板	・打込み ・張付け ・敷込み	・目直し ・継目処理	◎10 ・12 ・()	
・木質ワレ板	・硬質木目の板 ・普通木目の板	・目直し ・継目処理	◎20 ・25 ・30	
・繊維板				
・天然木化粧合板				・幅角取産材

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

遮音ソール材 ※アクリル系ソーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.2)(6.13.3)

材 質	表 面 の 品 質	厚 さ	工 法
◎厚紙合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ワフツ質感 () 不透明塗料塗りの場合 ※しな程度 ()	◎35 ・9 ・12 ・55 ・9 ・12	※A種 ・B種

壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 (6.13.2)

※F☆☆☆☆ ()

壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (6.14.2)

施工箇所	品 質	厚 度	防火性能の種類
			・1級 ・2級 () ・1級 ・2級 () ・1級 ・2級 () ・1級 ・2級 () ・1級 ・2級 ()

素地ごしらえの種類 (6.14.3)

モルタル及びアプスター面 ・ A種 ※B種

セッコウボード面 ・ A種 ※B種

施工業者 ※内装専門業者とする ()

6.14.3

施工箇所	形状・寸法	まじりの色	うわすり	設 物	色	見本	備 考
		1種	2種	3種	無地	無地	無地

14. タイル張り (6.16.3)

・打込み新熱材 (6.19.2)

材 質	種 類	厚 度	厚 さ
※押出成形スチレンフォーム新熱材	※2種-A () ・3種-A(縁地部分)	・25	・()
※積層ウレタンフォーム新熱材	・2種 ()号 ()	・()	・()

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

施工箇所

※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所 ()

・現場発泡新熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム新熱材)

燃焼性 ※3級 ・2級

厚 さ ・25 () ()

施工箇所 ※窓回り等の新熱材補修部分

材 質	品 質・規格	厚 さ
・ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボード1号(600)	・25
◎グラスウール吸音材	グラスウール吸音ボード2号32K グラスウール(JIS R2414)繊維巻	※25

グラスウール張りグラスウール吸音ボード(910×1820)の取付け工法

ポリプロピレン及びグラスウール吸音ボード 4本/m²程度以上

17. ポリスチレンフォーム床下地材

種 別	厚 さ	厚 さ	厚 さ
最下地	※40	・65	・80
フローリング類	※80	・95	・95

18. ステンレスの表面仕上げ 「14.2」

種 別	施工箇所	備 考
※ヘアライン程度	・ 下記以外の見え面全て	
・ No.2 程度		
・ 鏡面仕上げ		

19. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 「14.2.2」 「表14.2.1」

種 別	施工箇所	備 考
・ BB-1種		・ 着色
・ BB-2種		・ 770系 ・ 70系 ・ 3003

20. 鉄鋼の亜鉛メッキ 「14.2.3」 「表14.2.2」

種 別	亜鉛めっきの種類	備 考
	電鍍・A種 ・ 白亜 ・ C種	JIS H 8641
	電気・D種 ・ E種 ・ F種	JIS A 8610

野縁等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)

室内 ※1.9形 ・ 2.5形 ()

屋外 ・ 1.9形 ()

屋外における野縁等の間隔 () (6.6.3)

スタッフ、ランナーの種類 (6.7.3)(表6.7.1)

※「改修仕様」表6.7.1による

- 6. 金属成形板張り
- 7. 手すり及びクランプ
- 8. フリーアクセスフロア
- 9. 可動開仕切(既設置仕切)
- 10. 移動開仕切(スライディングドア)
- 11. トイレアス
- 12. 階段滑止め
- 13. 階段手すり
- 14. 床目地坪
- 15. 扉及びキャビネット
- 16. 鏡
- 17. 表示
- 18. 煙突ライニング
- 19. プラント
- 20. ロールスクリーン

「14.6.2」

材 質	製 法	材 質	寸 法 (mm)	厚 (mm)	表面処理
・ 304系	・ 押出し	※JIS 304	・ ()	・ ()	・ BB-1種 ・ BB-2種 ()
・ 316系	・ プレス	※JIS 316	・ ()	・ ()	・ ()

伸縮調整手 ・ 設ける ・ 設けない

「14.8.2」 「14.8.3」

種 別	材 料 の 種 別	表面処理
◎手すり	※ステンレスSUS304 ・ 嵌 ・ 嵌めつき 外部 ※C種	・ ()
◎クランプ	※ステンレスSUS304 ・ 嵌 ・ 嵌めつき 内外部 ※C種	・ ()

「20.2.2」

施工箇所	精 査	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	耐 火 性 能	所 定 容 量	表面仕上げ材	備 考
	・ パネル精査 ・ 鋼構精査	500×500		1.0G 0.6G	3,000N 5,000N	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット	

帯電防止性能(U値) ・ 0.6 - 1.2

感電防止性能(漏えい抵抗 R≥1×1056 Ω)

構造材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ()

製造所 () 同等以上

「20.2.3」

構造形式	パネルの厚さ	表面材種(厚さ)	仕上げ
※パネル式	・ ()以上	※鋼板 ()	※メッキ鋼板又はアクリル樹脂
・ スタッド式		※0.6 ()	※木目
・ スタッドパネル式		・ ()	・ ()

品質JIS A 6512によるもの又は評価書によるもの

「20.2.4」

表面材種	仕上げ	パネル厚	適合性
・ 鋼板	・ 焼付	※60 ・ 80 ・ 100	・ 一般タイプ ・ 適合タイプ

製造所 () 同等以上

仕 様

◎樹脂系化粧板 ・ 樹脂系化粧板 ()

部 材 ・ アルミ製 ・ ステンレス製 ()

附属金物 ※ステンレス製 ()

足形状 ※幅木型 ・ 足金物型

形 式 ・ 丁番吊 ・ 中心吊

「20.2.6」

・ 全鋼製 材 種 ※ステンレス製(SUS304) ・ 鋼製

形 式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ タイヤなし

幅 取 ※35 ()

取 付 ※接着工法 ()

・ 組製製 幅 ※60 ()

「20.2.7」

材 質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
※鋼製	※クリフッカー	・ 60 ・ 45	
◎アクリルパイプ	・ 丸		
・ 鋼製パイプ	・ EP-G		
・ ビニル製			

床仕上の異なる箇所には目地線を入れる。

※ステンレス製6×12 ・ ステンレス製4×12 ・ 鋼製4×12

「20.2.8」

※帯同規格工事特記仕様書の項目を適用する。

「20.2.9」

縁 ガラス ※なし ・ あり ()

ガラス厚 ※5mm ()

「20.2.10」

※図示による

下記による

種 別	材 質	寸 法	取付方法
・ 衝突防止表示	・ ステンレス製印刷品	・ ()	・ ()
・ 非常用出入口の表示	・ 市販品	・ ()	・ ()
◎壁札	・ ステンレス製 ()	・ ()	・ 面付 ・ 挿出し
◎クランプ	・ ステンレス製 ()	・ ()	・ ()
◎案内板	・ ステンレス製 ()	・ ()	・ ()
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

「20.2.11」

・ 煙突用成形ライニング材

最高使用温度 ※650℃ ()

・ キャスタブル耐火材

製造所 ※監督員の承諾する製造所 () 同等以上

「20.2.12」

形 式	鋼製アライニング(JIS A 4801)	鋼製アライニング
スフットの材質	※アルミニウム合金	・ アルミニウム合金 ・ クロス
取付方式	※キヤブ ・ コード式 ・ 操作式	・ 操作式コード ・ 2本操作コード
スフットの幅	※25 ・ 35	・ 80 ・ 100

材 質 ・ 品質等 ()

「20.2.13」

- 21. カーテン及びカーテンレール
- 22. アフインドボックス及びカーテンボックス
- 23. コーナビード
- 24. 天井見切縁
- 25. 点検口
- 26. かつみマット
- 27. 鋼製書架及び物品箱
- 28. 旗ざお
- 29. 旗ざお受金物
- 30. 流しユニット
- 31. 視察観客用誘導床材
- 32. 既設フェンス
- 33. かき箱
- 34. 敷地境界線
- 35. 屋外掲示板
- 36. 車止め支柱
- 37. 新窓受・郵便受
- 38. 不製家具
- 39. 収納・収納家具
- 40. 施工中の安全管理

「20.2.14」 「表20.2.1」

施工箇所	別地名品名	寸法の種別	形 式	備 考
器具			・ 引引き・引分け ・ 引引き・引分け ・ 引引き・引分け ・ 引引き・引分け	・ 有 ※無 ・ 有 ※無 ・ 有 ※無 ・ 有 ※無

※略称用カーテンの高さ、上部及び合わせの重掛けは300mm以上とする。

カーテンレール

材 質 ※ステンレス製 ◎アルミニウム製 ・ 鋼製

形状 ※C型又はD型 ・ 角型

15. アフインドボックス及びカーテンボックス

材 質 ※アルミニウム製(既製品) ・ 鋼製 ()

色別 ※シルバー ・ 着色 ()

形状 ※溝幅φ0×深さ150 ・ 溝幅 () ×深さ ()

16. コーナビード

材 質 ※ステンレス製 ()

17. 天井見切縁

材 質 ※アルミニウム押出型材 ◎塩化ビニル製

施工箇所 ※仕上表による ()

18. 点検口

施工箇所	材 質	寸 法
天井	※アルミニウム ・ ()	◎50×450 ◎300×600
床	・ アルミニウム ・ ステンレス	・ 450×450 ・ 600×600

19. かつみマット

材 質 ※塩化ビニル製又はゴム製(受持ステンレス製)
・ 硬質アルミニウム製(受持硬質アルミニウム製)
・ ステンレス製(受持ステンレス製)

種 別	規格等	取付位置による種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
・ 鋼製物品箱		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種

21. 旗ざお

材 質 ※アルミニウム製 ()

形状 ・ チェーパ式 ・ 同一断面

形式 ・ ロープ式 ・ ハンドル式

寸法 ()

22. 旗ざお受金物

材 質 ※ステンレス製(市販品) SUS 304 ()

23. 流しユニット

ステンレス流し台 仕様・寸法 ()

コンロ台 ()

布巾棚 ()

水切棚 ()

調理台 (W2100×900 H800)

施工箇所	材 質	寸 法	備 考
	・ セラミックタイル	・ 300角 ()	・ 無地
	・ ビニル床タイル	・ 300角	・ 黄色
	・ 点字装		・ 無地
	・ コンクリート製	・ 300角 厚60	・ 黄色

25. 既設フェンス

・ ビニル被覆エクスパンションフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス

・ 鋼製フェンス ()

※鋼製市販品 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用

26. かき箱

種別 ・ A種 ()

程度 ※B種

27. 敷地境界線

限用器具 ※あり ・ なし

材 質 ※あり ・ なし

28. 屋外掲示板

材 質 ※ステンレス製(上下式鋼内蔵) ()

形状 ※スプリング付き ・ スプリングなし

29. 車止め支柱

・ ()

30. 新窓受・郵便受

・ ()

家具専門メーカーの製作品とする。

31. 収納・収納家具

合板類

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

ミディアムデンシティファイバーボード(MFD)及びパーティクルボード

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

32. 施工中の安全管理

標識及び塗料の取付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間を取るものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発した化学物質等を室外に放出させる。

「7.1.3」

「表7.2.1」~「表7.2.7」

素地	種 別	備 考
◎床	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
◎床調	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
◎床めっき調	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
◎モルタル調及びアクリル系調	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
◎コンクリート調及びALCパネル調	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
・ 押出成形メッキ鋼板	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	
・ ボード面	・ RA種(新規不透明塗料塗りの場合) ・ RC種	

- ④ 錆止め塗料塗り
- ⑤ 合成樹脂適合ペイント塗り (SOP)
- 6. クリヤフッカー塗り (CL)
- 7. フタル樹脂系エナメル塗り (FE)
- 8. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)
- ⑨ 耐油性塗料塗り (DP)
- ⑩ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)
- ⑪ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)
- 12. 合成樹脂エマルジョン機織塗料塗り (EP-T)
- ⑬ フレタン樹脂フニス塗り (UC)
- 14. オイルステイン塗り (OS)
- 15. 木材保護塗料塗り (WP)
- 16. 屋内水系塗料塗り

④ 錆止め塗料塗り (表7.3.1)~(表7.3.2)

塗料種類	種類	備考
・鉄鋼面	■A種(屋外) ■B種(屋内)	
・垂れめっき鋼面	■A種(EP-Gの場合) ■B種	
	■C種(EP-Gの場合)	

⑤ 合成樹脂適合ペイント塗り (SOP) (表7.3.3)~(表7.3.4)

塗料種類	種類	備考
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・新規鋼製建築等垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

6. クリヤフッカー塗り (CL) (表7.5.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種	

7. フタル樹脂系エナメル塗り (FE) (表7.6.1)~(表7.6.2)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面及び垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

8. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) (表7.7.1)

塗料種類	種類	備考
・モルタル面	■A種 ■B種	
	■A種 ■B種	

⑨ 耐油性塗料塗り (DP) (表7.8.1)~(表7.8.3)

塗料種類	種類	塗料の種類	備考
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	■上塗1級	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	■上塗1級	
・コンクリート面	■A種 ■B種 ■C種	■上塗1級	
その他	■A種 ■B種 ■C種	■上塗1級	

⑩ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) (表7.9.1)~(表7.9.4)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・コンクリート面	■A種 ■B種 ■C種	
その他	■A種 ■B種 ■C種	

⑪ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) (表7.10.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

12. 合成樹脂エマルジョン機織塗料塗り (EP-T) (表7.11.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

⑬ フレタン樹脂フニス塗り (UC) (表7.12.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

14. オイルステイン塗り (OS) (表7.13.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

15. 木材保護塗料塗り (WP) (表7.14.1)

塗料種類	種類	備考
・木部	■A種 ■B種 ■C種	
・鉄鋼面	■A種 ■B種 ■C種	
・垂れめっき鋼面	■A種 ■B種 ■C種	

16. 屋内水系塗料塗り
 屋内の木部、鉄鋼面及び垂れめっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りに適用する。

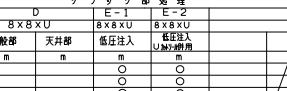
外壁改修2

工種	種別	露出鉄筋部処理	備考
記号	B-4 B-5	1000×1000 1000×1000	L×1000
施工部位	一般部 天井部	一般部 天井部	一般部
作業内容/単位	m ² m ²	m ² m ²	m
1 錆止め塗り	○	○	○
2 錆止め塗り	○	○	○
3 フルクリヤフッカー	○	○	○
4 防錆塗料	○	○	○
5 足場撤去	○	○	○
6			
7			
8			
9			



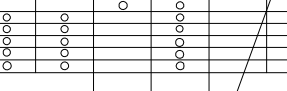
外壁改修3

工種	種別	クラック部処理	備考
記号	D	E-1 E-2	
施工部位	一般部	天井部	垂直部
作業内容/単位	m	m	m
1 養生設置	○	○	○
2 養生撤去	○	○	○
3 クラック部処理	○	○	○
4 エポキシ樹脂注入	○	○	○
5 養生撤去	○	○	○
6 養生撤去	○	○	○
7 養生撤去	○	○	○
8 養生撤去	○	○	○
9 養生撤去	○	○	○
10 養生撤去	○	○	○



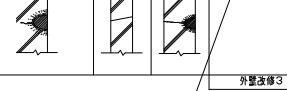
外壁改修4

工種	種別	浮き部処理	備考
記号	F-1 F-2 F-3	G-1 G-2	G-3(柱・窓台等)
施工部位	F1-F2以内 F2-F3以内	F3-F4以内	ピンコック
作業内容/単位	m ² m ²	m ² m ²	m
1 浮き部処理	○	○	○
2 浮き部処理	○	○	○
3 浮き部処理	○	○	○
4 浮き部処理	○	○	○
5 浮き部処理	○	○	○
6 浮き部処理	○	○	○
7 浮き部処理	○	○	○
8 浮き部処理	○	○	○
9 浮き部処理	○	○	○
10 浮き部処理	○	○	○



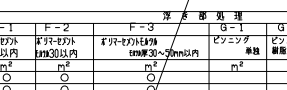
外壁改修5

工種	種別	タイル面の浮き処理	備考
記号	H-1 H-2		
施工部位	タイル貼替え	タイル面ピンコック	
作業内容/単位	m ² m ²	m ² m ²	
1 浮き部処理	○	○	○
2 浮き部処理	○	○	○
3 浮き部処理	○	○	○
4 浮き部処理	○	○	○
5 浮き部処理	○	○	○
6 浮き部処理	○	○	○
7 浮き部処理	○	○	○
8 浮き部処理	○	○	○
9 浮き部処理	○	○	○
10 浮き部処理	○	○	○



外壁改修6

工種	種別	ジャンパ部処理	打撃目部処理	備考
記号	J	K		
施工部位	ジャンパ部	50×30		
作業内容/単位	m ²	m ²		
1 ジャンパ部処理	○	○	○	○
2 ジャンパ部処理	○	○	○	○
3 ジャンパ部処理	○	○	○	○
4 ジャンパ部処理	○	○	○	○
5 ジャンパ部処理	○	○	○	○
6 ジャンパ部処理	○	○	○	○
7 ジャンパ部処理	○	○	○	○
8 ジャンパ部処理	○	○	○	○
9 ジャンパ部処理	○	○	○	○
10 ジャンパ部処理	○	○	○	○



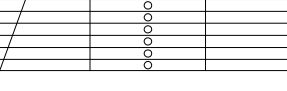
外壁改修1

工種	種別	露出鉄筋部処理	備考
記号	B-1 B-2 B-3	100×100以下 200×100以下 1000×1000以下	
施工部位	一般部 天井部	一般部 天井部	一般部
作業内容/単位	m ² m ²	m ² m ²	m
1 錆止め塗り	○	○	○
2 錆止め塗り	○	○	○
3 フルクリヤフッカー	○	○	○
4 防錆塗料	○	○	○
5 足場撤去	○	○	○
6			
7			
8			
9			



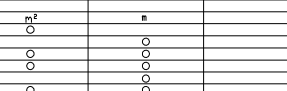
外壁改修5 (continued)

工種	種別	浮き部処理	備考
記号	G-1 G-2		
施工部位	ピンコック	ピンコック	
作業内容/単位	m ² m ²	m ² m ²	m
1 浮き部処理	○	○	○
2 浮き部処理	○	○	○
3 浮き部処理	○	○	○
4 浮き部処理	○	○	○
5 浮き部処理	○	○	○
6 浮き部処理	○	○	○
7 浮き部処理	○	○	○
8 浮き部処理	○	○	○
9 浮き部処理	○	○	○
10 浮き部処理	○	○	○



外壁改修6 (continued)

工種	種別	ジャンパ部処理	打撃目部処理	備考
記号	J	K		
施工部位	ジャンパ部	50×30		
作業内容/単位	m ²	m ²		
1 ジャンパ部処理	○	○	○	○
2 ジャンパ部処理	○	○	○	○
3 ジャンパ部処理	○	○	○	○
4 ジャンパ部処理	○	○	○	○
5 ジャンパ部処理	○	○	○	○
6 ジャンパ部処理	○	○	○	○
7 ジャンパ部処理	○	○	○	○
8 ジャンパ部処理	○	○	○	○
9 ジャンパ部処理	○	○	○	○
10 ジャンパ部処理	○	○	○	○



施工区分表

(○印を塗りつぶしたものを適用する)

機器の基礎	電気関係	機械関係	工事内容										備考		
			建築	外構	植栽	電気	電話	昇降	給衛	空調	ガス				
機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 自家発電機の基礎 (アンカーボルトを除く) テレビアンテナの基礎 () 避雷針の基礎 ()	屋内設備 屋外設備 (架台、アンカーボルト含む) 屋上設備 (架台、アンカーボルト除く)													電気と十分協議すること
開口部	特記した基礎														
	梁、床、壁														
	普通スリーブ														
	梁、床、壁														
	普通部型枠														
	軽集積骨下地														
	壁・天井ボード類の切込み														
	埋込型分電盤														
	端子盤等の型枠														
	上記開口部の補強														
点検口	床、壁、天井														
ガバリ	外壁面 (ダクト、チャンバーの接続用含む)														
換気扇	壁換気扇 (フェザーカバー含む) 天井換気扇 (ベントキャップ含む)														
換気扇の取付枠及びアルミパネル	壁換気扇 (フェザーカバー含む) 天井換気扇 (ベントキャップ含む)														
換気扇	壁換気扇 (フェザーカバー含む) 天井換気扇 (ベントキャップ含む)														
流し台	排水トラップ含む														
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤														
床下排水のマンホール蓋	雨水 汚水、雑排水														
雨水壁障	汚水、雑排水														
身障者用便所手すり															
はめ込み形洗面器用カウンター (前板付)															
ガスボンベ転倒防止用の鎖															
電気配管配線	機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共) 機械設備機器付属の制御盤と電源供給及び配管配線 機械設備自動制御と電気設備との電源供給 機械設備自動制御と電気設備との制御回路の配管配線 天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線 天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線 天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線 天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線 小便器用排水装置制御盤以降の配管配線 自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給 自動ドア及び電動シャッターなどの制御部 自動ドア及び電動シャッターなどの制御スイッチの配管配線及び操作スイッチ 防火扉リリース 電機箱 配線ビッド及び蓋 別途機器などへの接続 室外機・室内機間の伝送線 室外機・室内機間の電源送り線 室内機・リモコン間の配線 室内機・リモコン間の配管 リモコン送込ボックス 室内機・集中リモコン間の送り伝送線														
ガス漏れ検知機 (遮断弁連動)															
OAフロア用配線器具															
電気錠	電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤														
エレベーター出入口三方枠 (金属製)															
シャワーユニット (バスユニット)															
ガス給湯器リモコン用ケーブル															
ガス給湯器電線管及びボックス															
畳工事															
黒板工事	下地補強														
植栽工事	黒板・白板・掲示板														

井田中央公民館
外部仕上表

部位	改修前	改修後	部位	改修前	改修後
クーリングタワー基礎	平場：遮熱ゴム系ルーフィングシート防水（遮熱仕様） 立上り：遮熱ゴム系ルーフィングシート防水	ゴムシート下地用プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水（X-2）サーモUN ゴムシート下地用プライマー処理の上、ウレタン塗膜防水（X-2）サーモ	外構 接合部保護	タイル貼 ビニル床シート貼	タイル 欠損部分修繕・張替 床用 ノンスリップ 滑り止め塗料（歩行部用約10年）
屋根（屋外階段付）	平場・立上り：ウレタン塗膜防水 パラペット天端部：遮熱ゴム系ルーフィングシート防水	露出鉄筋、欠損部補修の上、下地調整+ウレタン塗膜防水（X-2）サーモUN 遮熱ゴム系ルーフィングシート防水、金物側面の上ウレタン塗膜防水（X-2）			
屋外階段A・B	2丁階段タイル貼	アルカリ耐蝕材塗布の上、モルタル・フィラー下地調整+ウレタン塗膜防水の上、防滑性ビニル床シート貼			

内部仕上表(1)

階数	室名	床		市木		壁		天井		天井高さ	室名サイン	備考
		下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上			
1	改修前 玄関1・風除室1	RC	2丁階段タイル貼	【既存のまま】		RC	吹付タイル 製地仕上	LGS	石膏ボードt=9貼貼の上、岩綿吸音板t=12 EPリブ付	【既存のまま】	2400	
	改修後 玄関2・風除室2					RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】				
1	改修前 玄関ロビー・展示スペース	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	市市木（チーク）UC	【撤去】	60	RC	吹付タイル 製地仕上	LGS	石膏ボードt=9貼貼の上、岩綿吸音板t=12 EPリブ付	【撤去】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	市市木（チーク）UC	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】	EP塗膜	【新設】
1	改修前 電線コーナー	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	市市木（チーク）UC	【撤去】	60	RC	吹付タイル 製地仕上	LGS	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【撤去】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	市市木（チーク）UC	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【新設】
1	改修前 ホール玄関	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	市市木（チーク）UC	【撤去】	60	RC	吹付タイル 製地仕上	LGS	石膏ボードt=9貼貼の上、岩綿吸音板t=12 EPリブ付	【撤去】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	市市木（チーク）UC	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】	EP塗膜	【新設】
1	改修前 管理室	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	モルタル VE	LGS	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【既存のまま】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】		
1	改修前 1階廊下	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	モルタル VE 一部 下地補修：カチオンフィラー（C-2）	LGS	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【撤去】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材S	【新設】	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【新設】
1	改修前 第1研修室	RC	エポキシ樹脂塗床	【撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	モルタル VE	LGS	石膏ボードt=9.5 EP 【撤去】 一部石膏ボードt=6.0【アスベスト処理・撤去】	○【撤去】 撤去物：障子（2枚）、椅子、流し台、ランドリーユニット、オーディオインターフェース（2枚）
	改修後	RC	下地調整の上 長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	EP塗膜	【新設】	石膏ボードt=9.5 EP 【一部】ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP	○【新設】
1	改修前 第2研修室	RC	ビニルタイル t=2.0	【既存のまま】	ビニル市木	【既存のまま】	60	RC	モルタル VE	LGS	石膏ボードt=9.5 EP 【撤去】 一部石膏ボードt=6.0【アスベスト処理・撤去】	○【撤去】 撤去物：椅子
	改修後	RC						RC	EP塗膜	【新設】	石膏ボードt=9.5 EP 【一部】ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP	○【新設】
1	改修前 第3研修室（和室20畳）	RC	畳敷き	【撤去】	畳敷き	【既存のまま】		RC	モルタル ジュラクリン吹付	LGS	杉板目化粧合板t=3.0	○【撤去】 撤去物：畳、防炎カーテン
	改修後	RC	畳敷き	【新設】				RC	ジュラクリン吹付 【一部】軽鋼鉄下地W50+石膏ボードt=9.5 ジュラクリン吹付	【新設】	杉板目化粧合板t=3.0	○【新設】 新設物：畳、防炎カーテン
1	改修前 第3研修室内物入	RC	ラワンベニヤ t=12	【既存のまま】	補巾番	【既存のまま】		RC	ラワンベニヤ t=5.5	LGS	ラワンベニヤ t=3.0	○【撤去】
	改修後	RC						RC		【既存のまま】	ラワンベニヤ t=3.0	○【新設】
1	改修前 第4研修室（調理室）	RC	エポキシ樹脂塗床（防水）	【撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	モルタル VE	LGS	石膏ボードt=9.5 EP 【撤去】 一部石膏ボードt=6.0【アスベスト処理・撤去】	○【撤去】 撤去物：調理台・換気扇・食器棚
	改修後	RC	長尺塩ビシートt=2.0（防水・抗菌）	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	EP塗膜 【一部】軽鋼鉄下地W50+石膏ボードt=9.5 EP塗膜	【新設】	石膏ボードt=9.5 EP 【一部】ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP	○【新設】 新設物：調理台・換気扇・食器棚
1	改修前 第5研修室	RC	【一部】スラブ床解体 長尺塩ビシートt=2.5	【撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	ロックワール(t=50)+有孔ベニヤ(t=6.0) 【一部】既存残し、有孔ベニヤ【EP塗膜】	LGS	ロックワール(t=50)+有孔石膏ボード(t=9.5)	○【撤去】 撤去物：机、椅子、CD収納スクリーンボックス、スクリーン、天井用TV、手袋
	改修後	RC	【一部】スラブ床解体 長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	軽鋼鉄下地W65(GW25 24k仕様) 石膏ボードt=9.5+ビニルクロス貼 【一部】有孔ベニヤt=6.0 EP塗膜	【新設】	下地調整の上 石膏ボードt=9.5+ビニルクロス貼	○【新設】 新設物：可動機仕切
1	改修前 機写室	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	【一部】ロックワール(t=50)+有孔石膏ボードt=6.0 VE (t=10.0)VE	LGS	ロックワール(t=50)+有孔石膏ボードt=6.0 EP	【既存のまま】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	【一部】軽鋼鉄下地W50(GW仕様)+ 石膏ボードt=9.5+有孔石膏ボード (t=10.0) EP塗膜	【新設】		○【撤去】 撤去物：室内階段 ○【新設】 新設物：室内階段
1	改修前 第6研修室 小学教室	RC	長尺塩ビシートt=2.5	【既存のまま】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	ビニルクロス貼	LGS	石膏ボードt=9貼貼の上、岩綿吸音板t=12 EP	【既存のまま】
	改修後				ビニル市木	【新設】	60	RC	ビニルクロス貼	【新設】		○【撤去】
1	改修前 第7研修室（和室21畳）	RC	畳敷き	【撤去】	畳敷き	【既存のまま】		RC	モルタル 石膏ボード+ビニルクロス貼	LGS	杉板目化粧石膏ボードt=9.0	○【撤去】 撤去物：畳、防炎カーテン
	改修後	RC	畳敷き	【新設】				RC		【既存のまま】	杉板目化粧石膏ボードt=9.5	○【新設】 新設物：畳、防炎カーテン
1	改修前 男子検用(1)	RC	シンダーコンクリートt=50、ポリゴンモザイクタイル貼	【撤去】	-	-		RC	100角半組釘タイル貼	LGS	石膏ボードt=6.0+ビニルクロス貼	【アスベスト処理・撤去】
	改修後	RC	シンダーコンクリートt=50、 長尺塩ビシートt=2.0（抗菌）	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	下地補修の上 石膏ボードt=9.5+化粧石膏ボードt=6.0 【一部】LGS50、65+石膏ボードt=9.5+化粧石膏ボードt=6.0	【新設】	石膏ボードt=6.0+ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP	○【撤去】 撤去物：トイレブース、鏡、設備機器 ○【新設】 新設物：トイレブース、鏡、設備機器
1	改修前 女子検用(1)	RC	シンダーコンクリートt=50、ポリゴンモザイクタイル貼	【撤去】	-	-		RC	100角半組釘タイル貼	LGS	石膏ボードt=6.0+ビニルクロス貼	【アスベスト処理・撤去】
	改修後	RC	シンダーコンクリートt=50、 長尺塩ビシートt=2.0（抗菌）	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	下地補修の上 石膏ボードt=9.5+化粧石膏ボードt=6.0 【一部】LGS50+石膏ボードt=9.5+化粧石膏ボードt=6.0	【新設】	石膏ボードt=6.0+ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板t=6.0 EP	○【撤去】 撤去物：トイレブース、鏡、設備機器 ○【新設】 新設物：トイレブース、鏡、設備機器
1	改修前 S K	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル市木	【撤去】	60	RC	モルタル VE	LGS	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【撤去】
	改修後	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル市木	【新設】	60	RC	EP塗膜	【新設】	石膏ボードt=12.5、EPステップ仕上	【新設】
1	改修前 階段下倉庫	RC	モルタル金コテ	【既存のまま】				RC	モルタル 金コテ	【既存のまま】	コンクリート打直し	【既存のまま】
1	改修後											遮天

凡例		■略記号		■略記号		■略記号	
GB-R	FK	RC	コンクリート	DP-3		耐熱性塗料塗り（フッ素樹脂塗膜）	■特記事項
GB-D	FK-D	LGS	軽鋼鉄製壁・天井下地	SCP		防音防振用ペイント塗り	・内装仕上材・造作家具・機材の取付部材は、全てF☆☆☆☆とする
GB-S	GA	SJS	ステンレス 304	NAD		アクリル樹脂系床材付電線パイロット塗り	・天井【新設】ケイ酸カルシウム板貼りは全て目透かし貼とする
GB-F		W	木	LR		ウレタン樹脂付ニス塗り	・【新設】窓の縁は全て塩ビ製天井目地とする
GB-H		EP	防汚防カビエマルジョンペイント塗り	VE		電化ビニル上メタル塗膜	
DR		EP-G	艶あり合成樹脂エマルジョンペイント塗り				

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	日付	検査	監理	設計
図名	仕上表(1)	A/07	令和8年3月19日			
		株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第11-1499号			
			1級建築士登録第350116号 野田 康広			

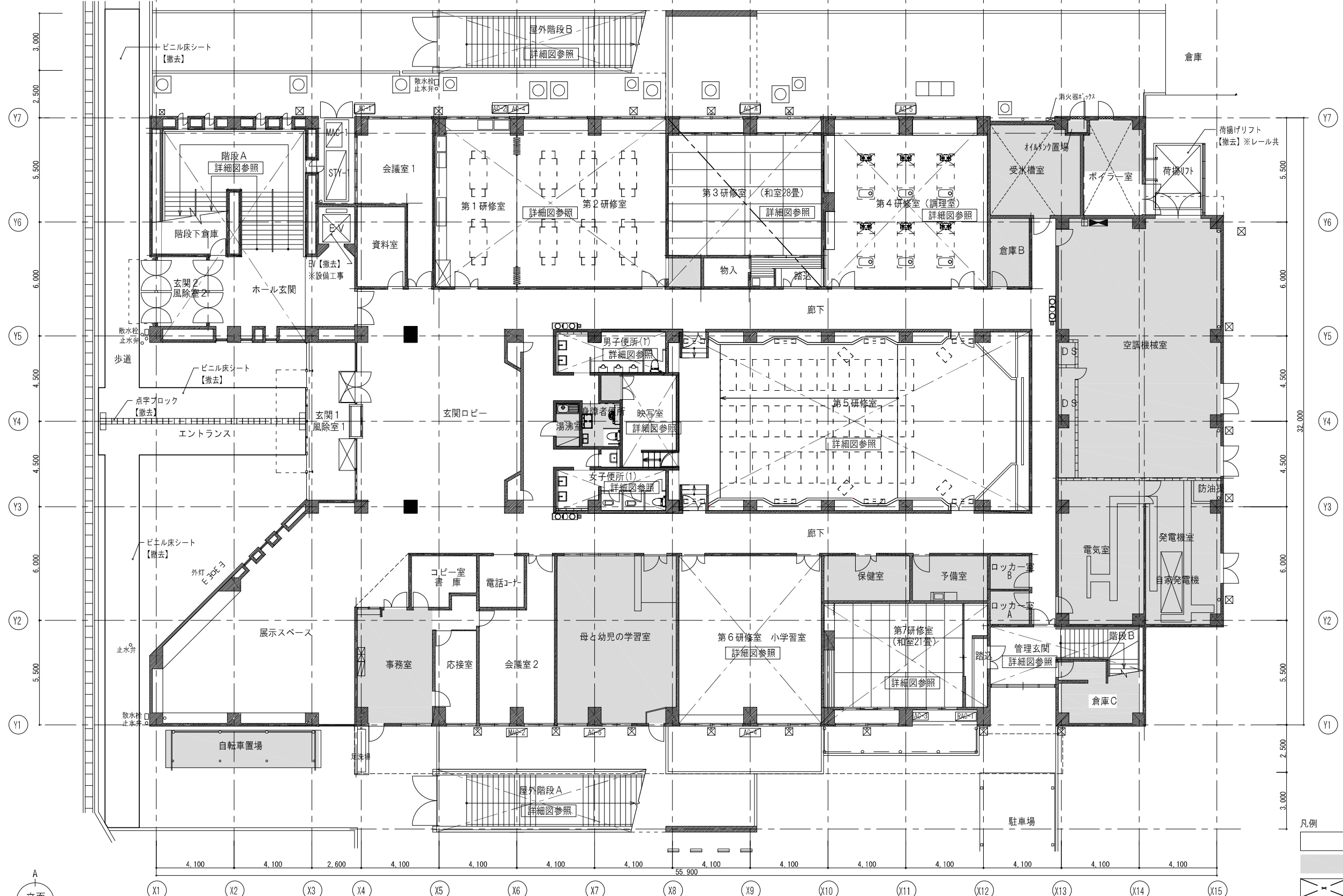
内部仕上表(2)

階数	室名	床			巾木			壁			天井			天井高さ	壁紙サイン	備考
		下地	仕上		仕上	高さ	下地	仕上		下地	仕上					
1	改修前	会議室(1)(2)	RC	ビニルタイル t=2.0	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	モルタル VE	【既存のまま】	LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【撤去】	○【撤去】	
	改修後												石膏ボードt=9.5 EP	【新設】	○【新設】	
	改修前	資料室	RC	ループカーペット貼	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	モルタル VE	【既存のまま】	LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【撤去】	○【撤去】	
	改修後												石膏ボードt=9.5 EP	【新設】	○【新設】	
	改修前	コピー室	RC	ビニルタイル t=2.0	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	モルタル VE	【既存のまま】	LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【撤去】		
	改修後												石膏ボードt=9.5 EP	【新設】		
2	改修前	応接室	RC	長尺塩ビシート t=2.5	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	ビニルクロス貼	【既存のまま】	LGS	石膏ボードt=9.5 ビニルクロス貼	【撤去】		
	改修後												石膏ボードt=9.5 ビニルクロス貼	【新設】		
	改修前	コピー	RC	ループカーペット貼	【既存のまま】	木巾木(チーク) UC		60	RC	吹付タイル 梨地仕上		LGS	石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【撤去】		
	改修後					木巾木(チーク) UC	【撤去】	60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】		石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【新設】		
	改修前	ホール横廊下	RC	ループカーペット貼	【既存のまま】	木巾木(チーク) UC		60	RC	吹付タイル 梨地仕上		LGS	石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【撤去】		
	改修後					木巾木(チーク) UC	【撤去】	60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】		石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【新設】		
	改修前	案内通路	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	60	RC	モルタル VE		LGS	石膏ボードt=12.5 EPステップ仕上	【撤去】		【下地補修】
	改修後							60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】		EP塗装	【新設】		
	改修前	案内横廊下	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	モルタル VE		LGS	石膏ボードt=9.5 EPステップ仕上	【撤去】		【下地補修】
	改修後							60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】		EP塗装	【新設】		
	改修前	ホール各席	RC	通達部：ループカーペット貼 椅子部：ビニルタイル貼 t=2.0	【撤去】 【アスベスト処理・撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	ロックワール(t=50)+有孔石膏ボードt=9.0 吹付タイル	【既存のまま】	鉄骨+LGS	石膏ボードt=9.5 EPステップ仕上	【撤去】		撤去物：固定椅子、手摺
	改修後			通達部：ループカーペット貼 椅子部：長尺塩ビシート t=2.0	【新設】 【新設】	ビニル巾木	【新設】	60				鉄骨+LGS 鉄骨下地	石膏ボードt=9.5 EPステップ仕上	【新設】		新設物：固定椅子、手摺
	改修前	ステージ	RC	根太組 合板t=15倍強+松練甲板t=18	【表裏研削の上塗装】	木巾木(松) UC		60	RC	木毛板 t=3.0	【既存のまま】					
	改修後			根太組 合板t=15倍強+松練甲板t=18 根太組 合板t=15倍強+松練甲板t=18	【表裏研削の上塗装】 【広張部新設】	木巾木(松) UC	【撤去】	60								
	改修前	男子便所(2)	RC	シンダーコンクリートt=50, ポリゴンモザイクタイル貼 (一部) ビニルタイル貼 t=2.0	【撤去】 【アスベスト処理・撤去】	-		-	RC	100角半組器タイル貼	【撤去】	LGS	石膏ボード+ビニルクロス貼	【撤去】	○【撤去】	撤去物：トイレブース、鏡、設備機器
	改修後			シンダーコンクリートt=50, 長尺塩ビシート貼 t=2.0 (汎用)	【新設】	ビニル巾木	【新設】	60	RC	下地補修の上 石膏ボードt=9.5+化粧ケイカルシウム板t=6.0 (一部) LGS50.65+石膏ボードt=9.5+化粧ケイカルシウム板t=6.0	【新設】		ケイカルシウム板t=6.0 EP	【新設】	○【新設】	新設物：トイレブース、鏡、設備機器
	改修前	女子便所(2)	RC	シンダーコンクリートt=50, ポリゴンモザイクタイル貼 (一部) ビニルタイル貼 t=2.0	【撤去】 【アスベスト処理・撤去】	-		-	RC	100角半組器タイル貼	【撤去】	LGS	石膏ボード+ビニルクロス貼	【撤去】	○【撤去】	撤去物：トイレブース、鏡、設備機器
	改修後			シンダーコンクリートt=50, 長尺塩ビシート貼 t=2.0 (汎用)	【新設】	ビニル巾木	【新設】	60	RC	下地補修の上 石膏ボードt=9.5+化粧ケイカルシウム板t=6.0 (一部) LGS50.65+石膏ボードt=9.5+化粧ケイカルシウム板t=6.0	【新設】		ケイカルシウム板t=6.0 EP	【新設】	○【新設】	新設物：トイレブース、鏡、設備機器
	改修前	男子便所・女子便所(3)	RC	長尺塩ビシート貼 t=2.5	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	化粧ケイカルシウム板t=6.0	【既存のまま】	LGS	ケイカルシウム板t=6.0 EP	【既存のまま】	○	
	改修後														○	新設物：温水洗浄便器
	改修前	女子更衣室	RC	長尺塩ビシート	【撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	モルタル VE		LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【アスベスト処理・撤去】	○【撤去】	撤去物：バスユニット
	改修後	男子更衣室	RC	長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル巾木	【新設】	60	RC	モルタル EP	【新設】		ケイカルシウム板t=6.0 EP	【新設】	○【新設】	新設物：シャワーユニット
	改修前	楽屋(1)(2)	RC	ビニルタイル t=2.0	【撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	ビニルクロス貼	【撤去】	LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【既存のまま】	○【撤去】	撤去物：洗面化粧カウンター
	改修後			発泡プラスチック系断熱床下地+カーペットタイル 一部：長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル巾木	【新設】	60	RC	ビニルクロス貼	【新設】				○【新設】	新設物：洗面化粧カウンター
改修前	楽屋(3)	RC	ビニルタイル t=2.0	【撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	ビニルクロス貼	【撤去】	LGS	石膏ボードt=9.5 EP	【既存のまま】	○【撤去】	撤去物：洗面化粧カウンター	
改修後			長尺塩ビシート t=2.0	【新設】	ビニル巾木	【新設】	60	RC	ビニルクロス貼	【新設】				○【新設】	新設物：洗面化粧カウンター	
3	改修前	コピー	RC	ループカーペット貼	【既存のまま】	木巾木(チーク) UC		60	RC	吹付タイル 梨地仕上		LGS	石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【撤去】		
	改修後					木巾木(チーク) UC	【撤去】	60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】		石膏ボードt=12.5 ビニルクロス貼	【新設】		
4	改修前	撮影室	RC	ビニルタイル t=2.0	【既存のまま】	ビニル巾木	【既存のまま】	60	RC	(一部) モルタルVE 岩継ケイカル板t=10 VE	【アスベスト処理・撤去】	LGS	ロックワール(t=50)+有孔石膏ボードt=9.5 EP	【既存のまま】		撤去物：カーテンボックス、幅輻カーテン
	改修後							60	RC	(一部) 軽装鉄骨下地W50+石膏ボードt=9.5 EP	【新設】					新設物：カーテンボックス、幅輻カーテン
階段	改修前	階段A	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	木巾木(チーク) UC	【撤去】	60	RC	吹付タイル 梨地仕上		RC	ビニルクロス貼	【撤去】		
	改修後					木巾木(チーク) UC	【新設】	60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】	RC	ビニルクロス貼	【新設】		
	改修前	階段B	RC	ビニルタイル t=2.0	【アスベスト処理・撤去】	ビニル巾木	【撤去】	60	RC	モルタル VE		RC	(撤去) 石膏ボードt=9.5 EPステップ仕上	【既存のまま】		
	改修後							60	RC	可とう形外装薄塗材Si	【新設】	RC	(撤去) モルタル VE	【既存のまま】		

凡例

■略記号				■特記事項			
GB-R	FK			RC	コンクリート	DP-3	断熱性塗料塗り (フッ素樹脂塗膜)
GB-D	FK-D			LGS	軽装鋼骨・天井下地	SOP	合成樹脂系ペイント塗り
GB-S	OA			SUS	ステンレス 304	NAD	アクリル樹脂系防水分散形ペイント塗り
GB-F				W	木軸	UE	ウレタン樹脂フニス塗り
GB-H				EP	合成樹脂上マルシヨンペイント塗り	VE	電化ビニルエナメル塗
DR				EP-G	艶あり合成樹脂上マルシヨンペイント塗り		

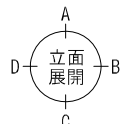
工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/08	日付	令和 8年 3月 19日	図章	製表	田島	製図
図名	仕上表(2)	製図者	-	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録-福岡県登録第1-1149号 1級建築士登録大臣第380116号 野田 康広					



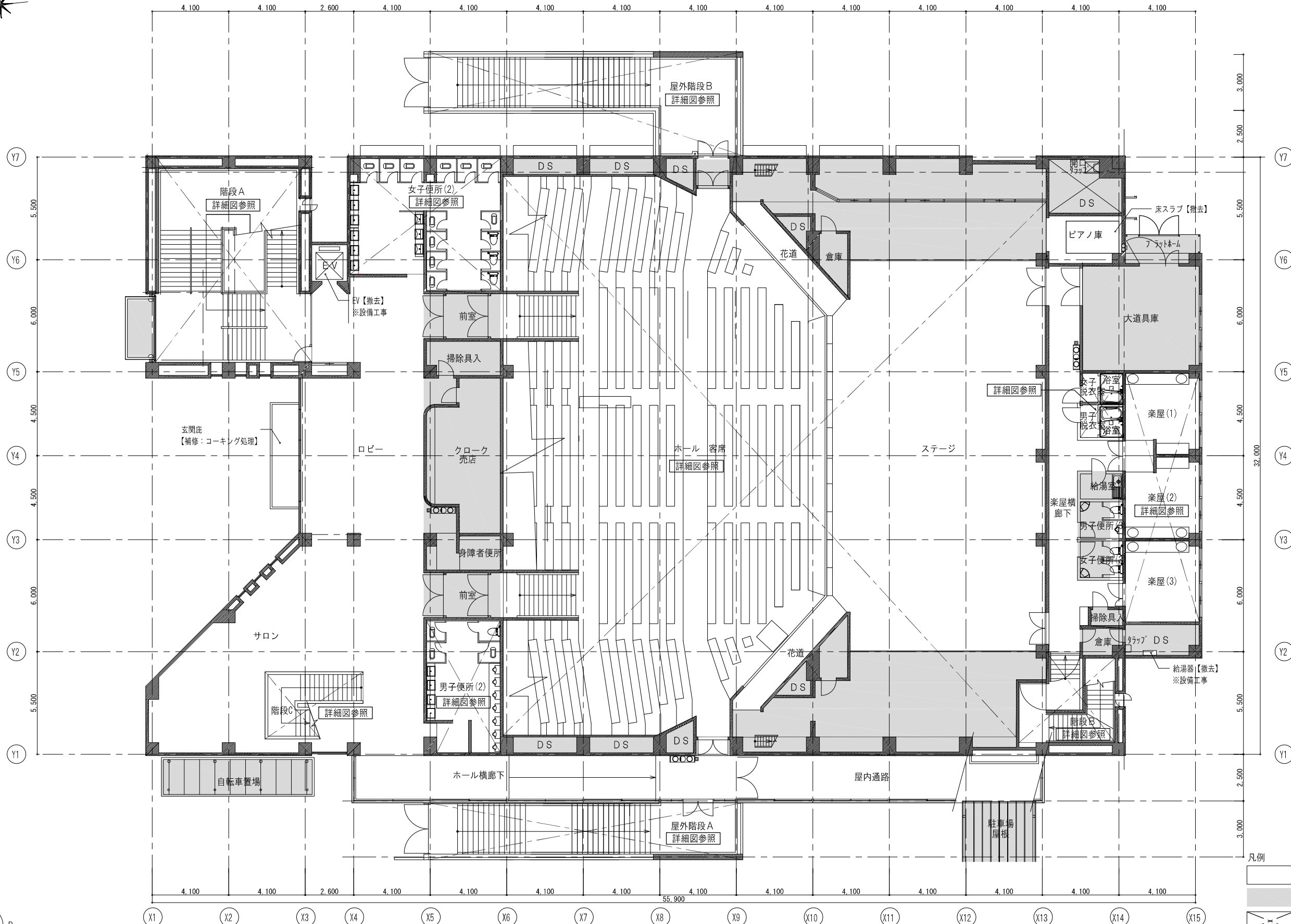
- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

現況 1階平面図 S=1/200



工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/09		日付	令和8年3月19日		図面	1/200	
	図名	現況 1階平面図	設計	株式会社 手島建築設計事務所		1級建築士事務所登録第一種建築師事務所第1-11499号	1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広				

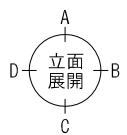


- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - ↔ 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

現況 2階平面図 S-1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/10	日付	令和8年 3月 19日	製図	
	図名	現況 2階平面図	縮尺	1/200	設計	株式会社 手島建築設計事務所	監理	1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

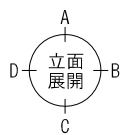




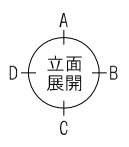
- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

現況 3階平面図 S=1/200



工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/11	意・構・電・設	日付	令和8年 3月 19日	担当者	野田 康広
	図名	現況 3階平面図	縮尺	1/200	設計事務所	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広			

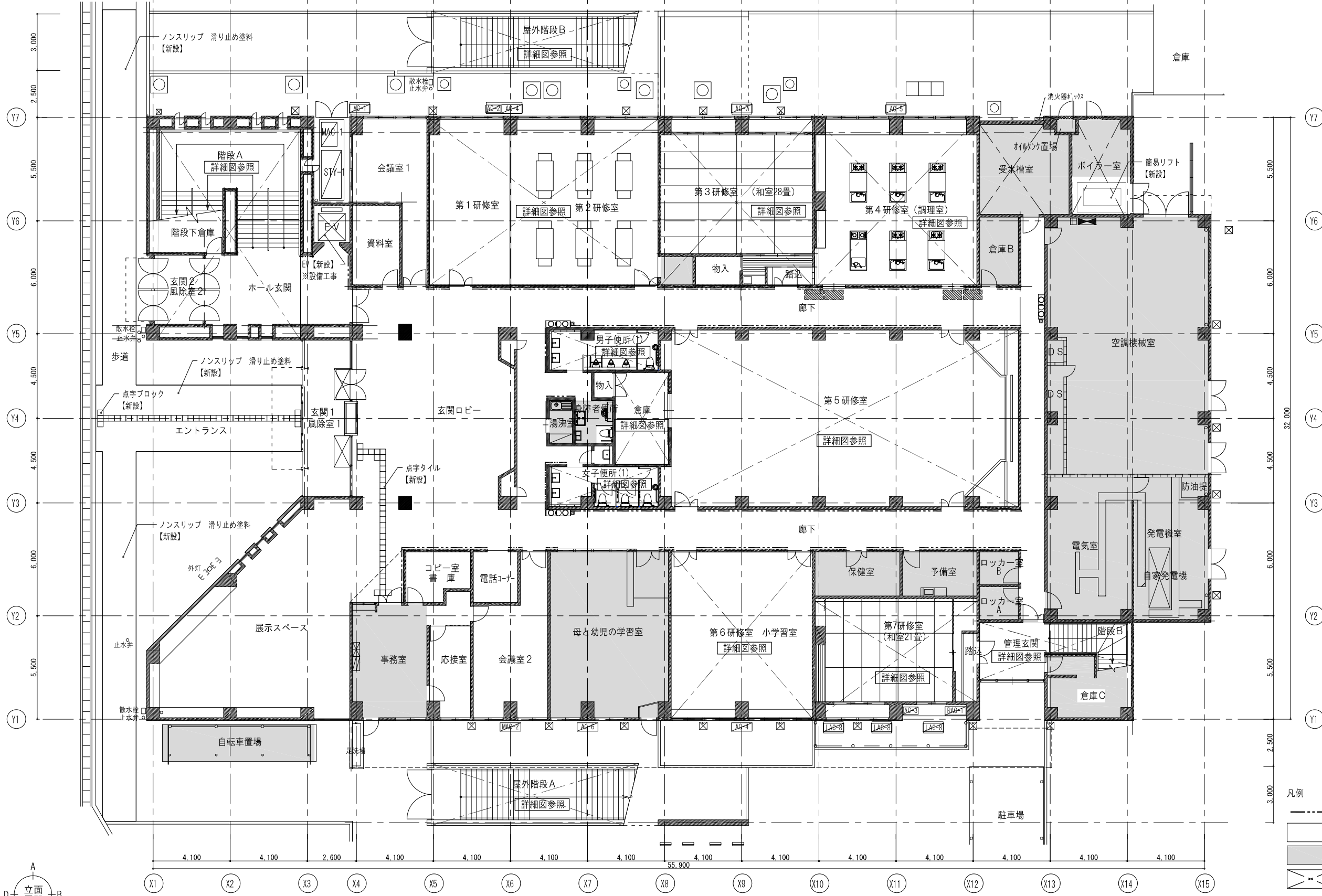


- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

現況 4階平面図 S=1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/12		日付	令和8年 3月 19日		製図	
	図名	現況 4階平面図	縮尺	1/200		製図者	株式会社 手島建築設計事務所		製図	
					1級建築士事務所登録第一種建築師登録第1-11499号		1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広			

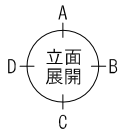


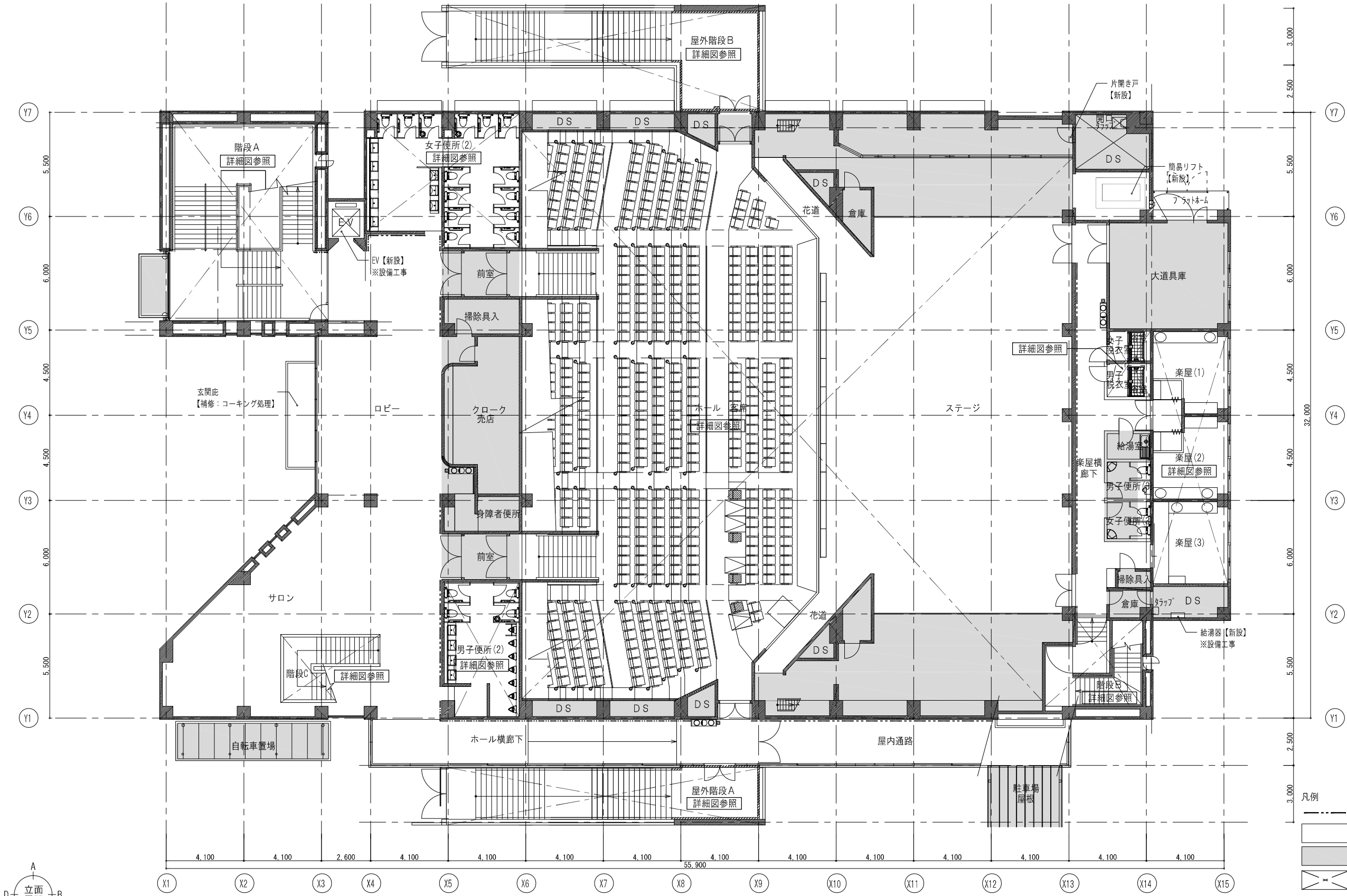
- 凡例
- 手摺新設
 - 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

改修後 1階平面図 S-1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/13	日付	令和8年3月19日	製図	
図名	改修後 1階平面図	縮尺	1/200	設計	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号	1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

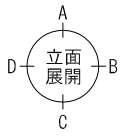




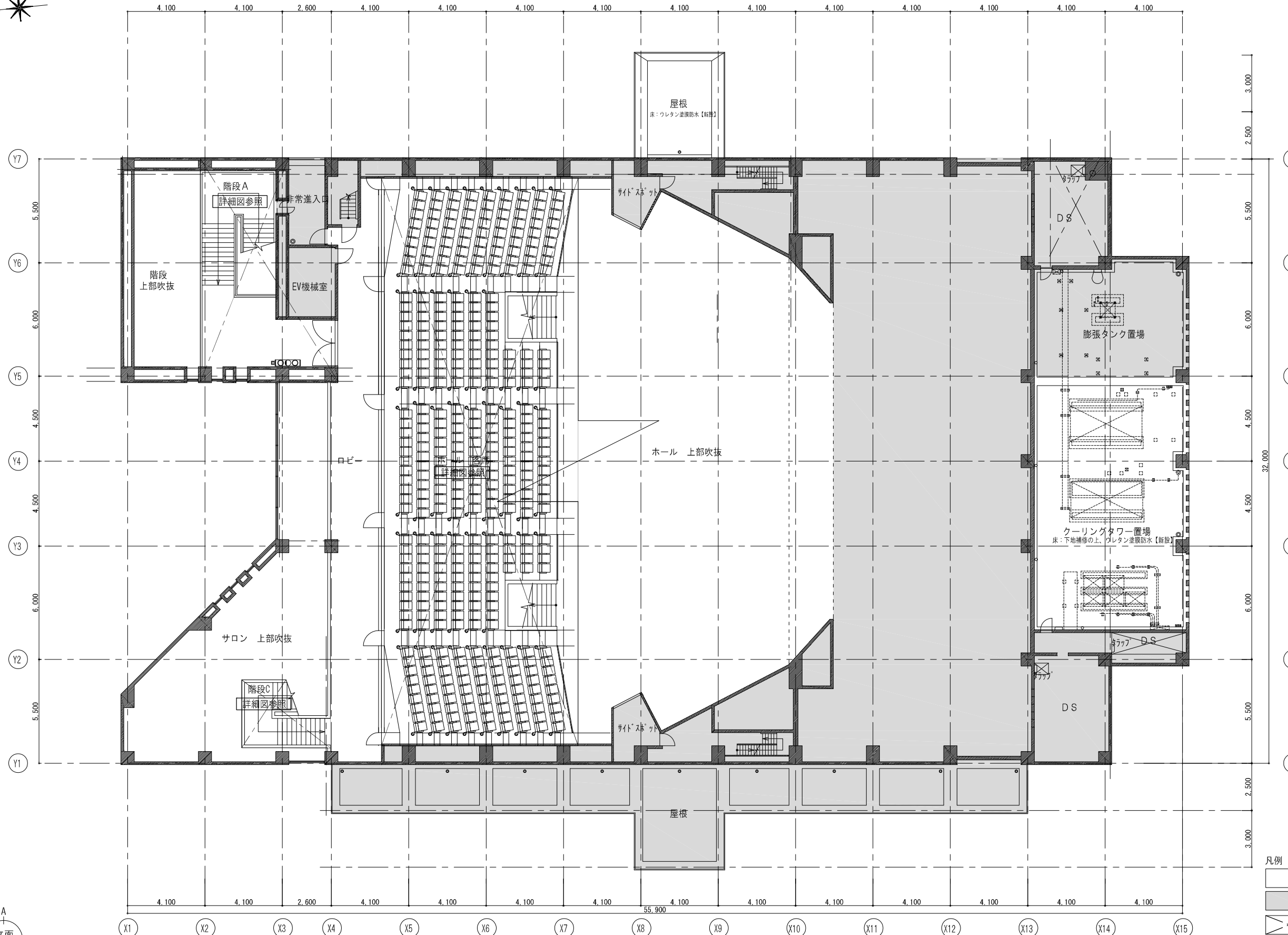
- 凡例
- 手摺新設
 - 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

改修後 2階平面図 S-1/200



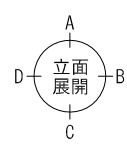
工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/14	意・構・電・設	日付	令和8年 3月 19日	担当者	野田 康広
図名	改修後 2階平面図	縮尺	1/200	設計事務所	株式会社 手島建築設計事務所			
				1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広				



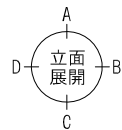
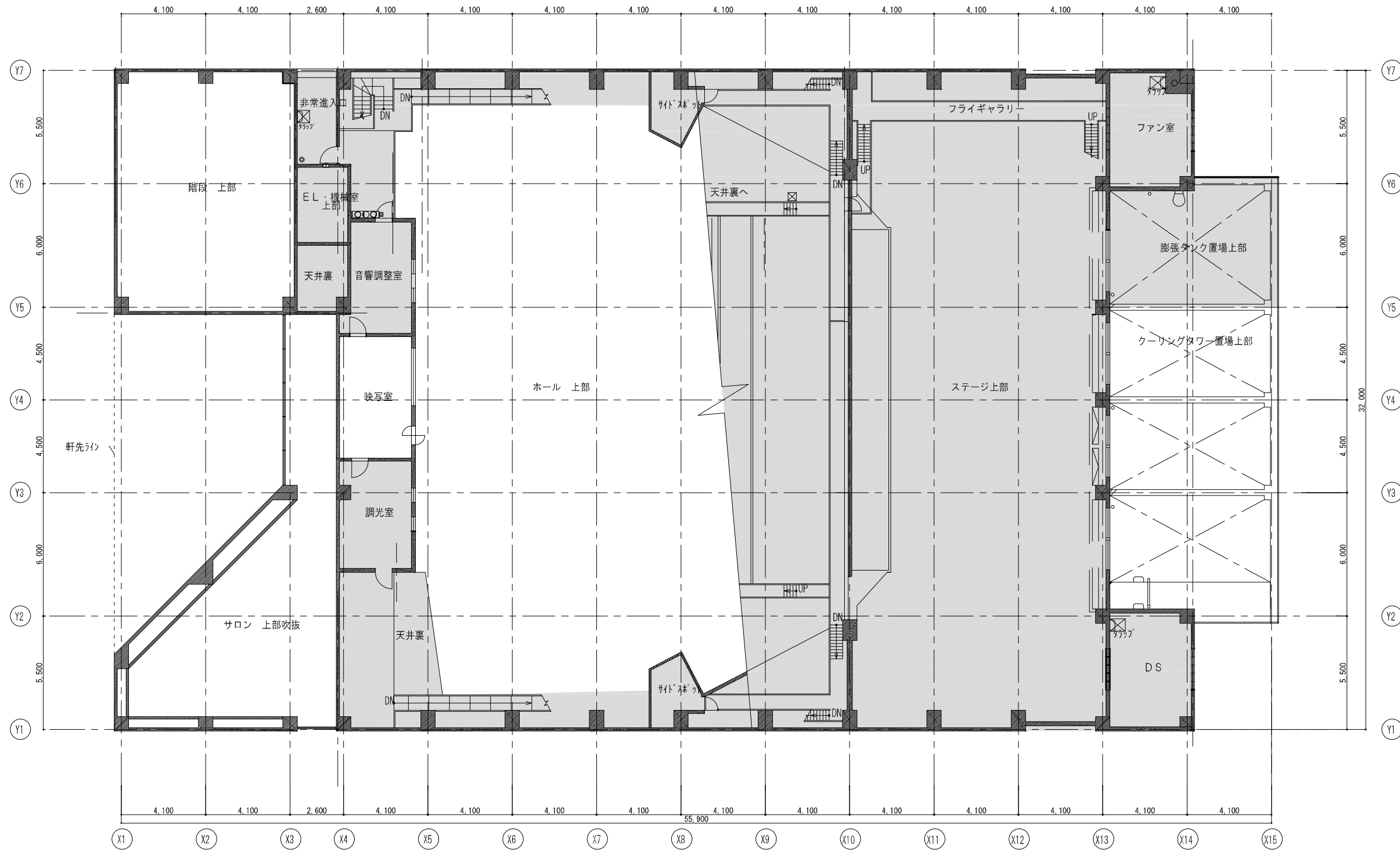
- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す
 - 詳細図参照

※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

改修後 3階平面図 S-1/200



工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号		日付	製	校	印	製
		A/15	意・構・電・設					
図名	改修後 3階平面図	縮尺	1/200	令和8年 3月 19日				1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広
		株式会社 手島建築設計事務所						

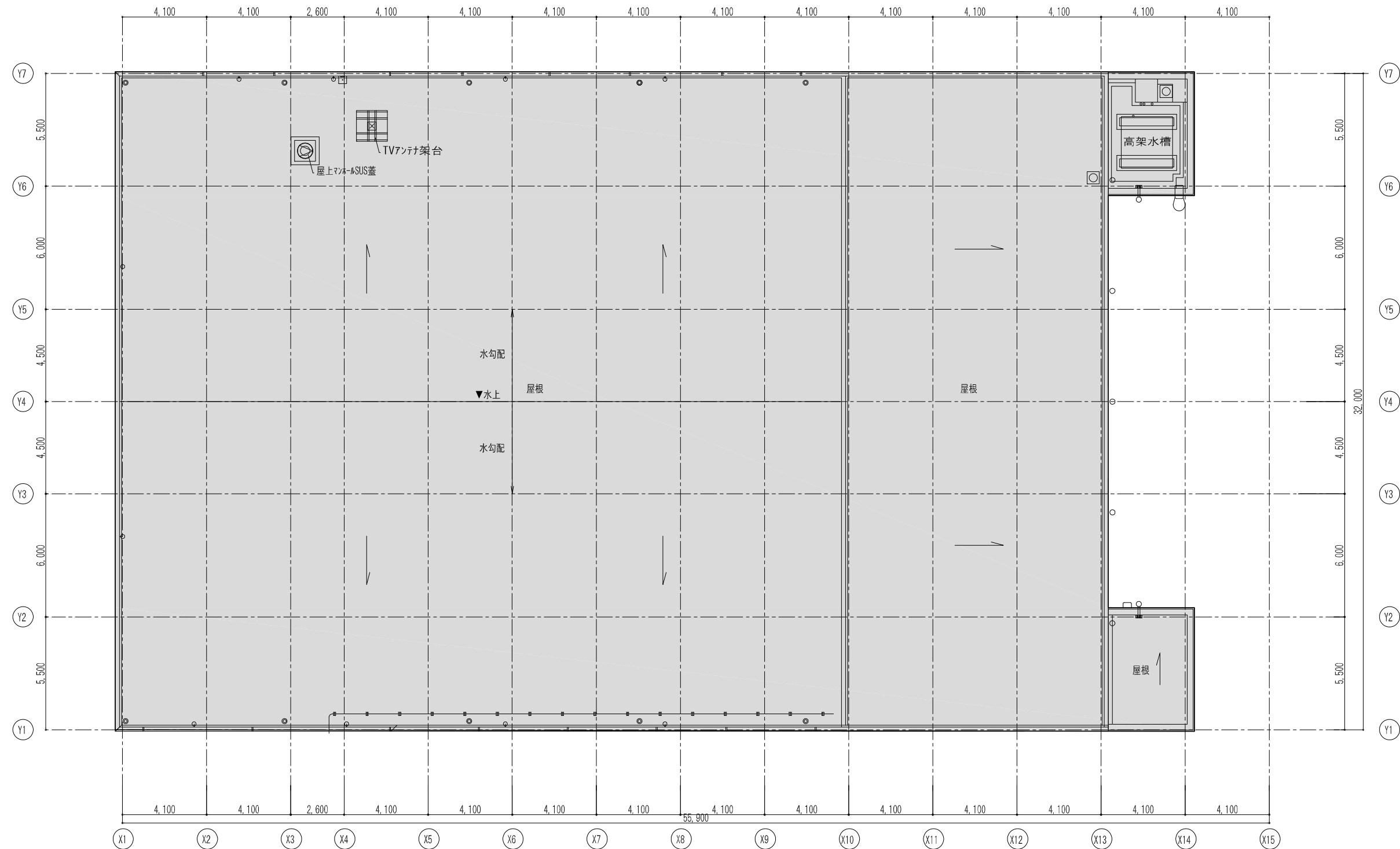


- 凡例
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す

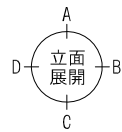
※建築外部工事、及び内壁補修工事は別途とする

改修後 4階平面図 S-1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/16	意・構・電・設	日付	令和8年 3月 19日	冊数	1	枚数	11499	製図
	図名	改修後 4階平面図	縮尺	1/200	株式会社 手島建築設計事務所		1級建築士事務所登録第一種建築師登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広					




現況 屋根伏図 S=1/200

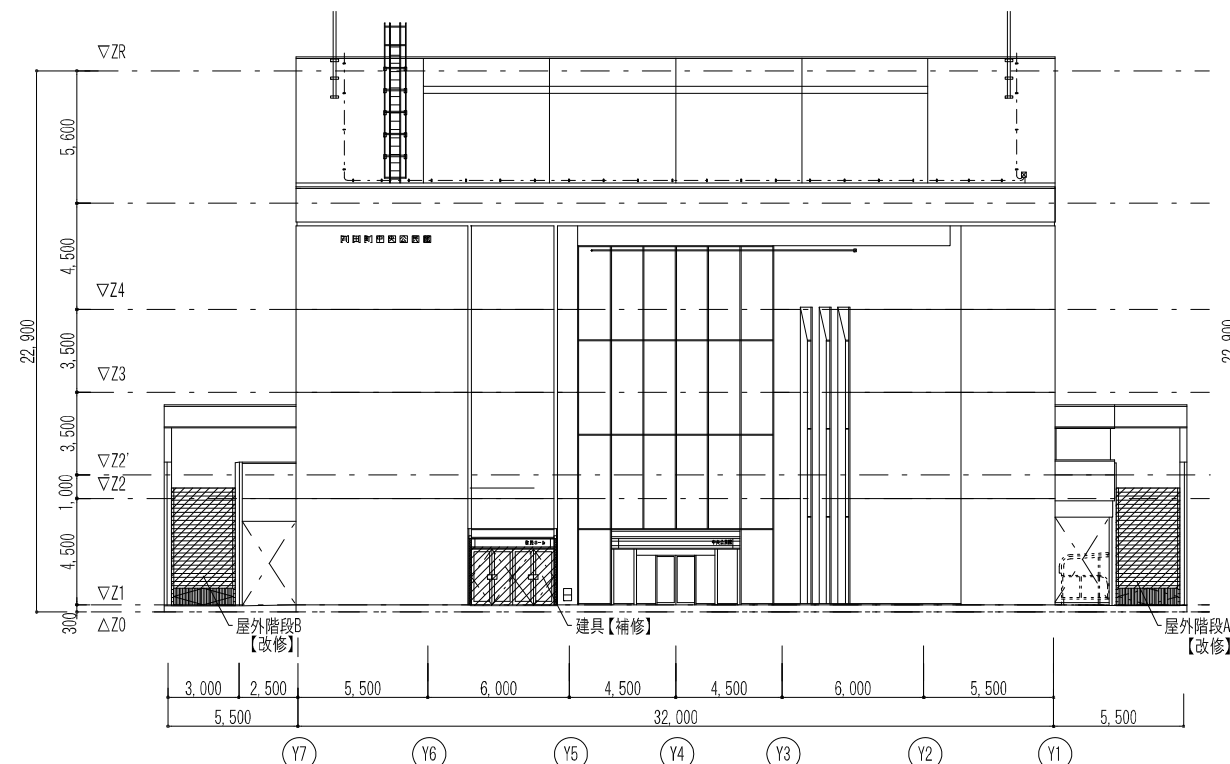


凡例
 工事範囲外を示す

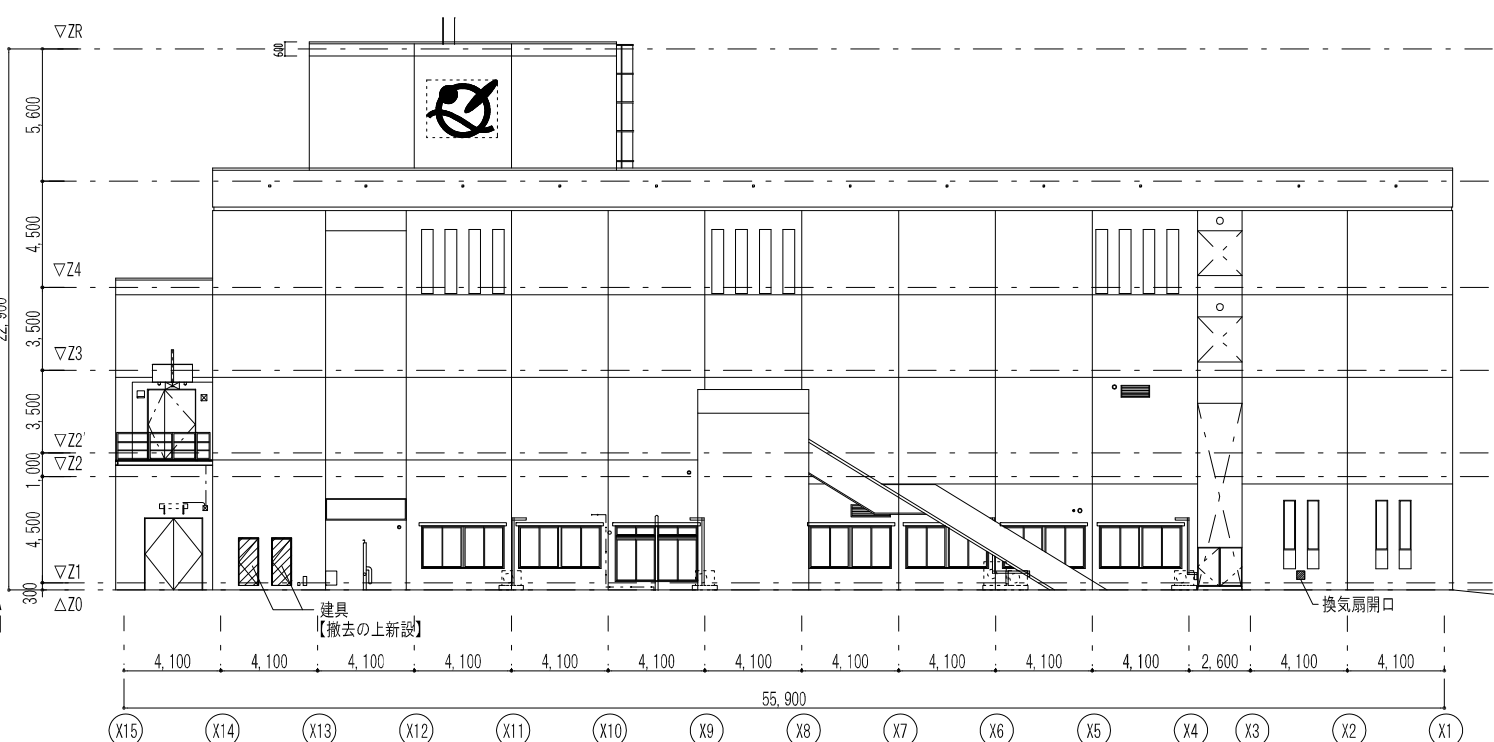
工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A / 17		日付	令和8年 3月 19日		製図	
	図名	現況 屋根伏図	縮尺	1/200		製図	株式会社 手島建築設計事務所		製図	

1級建築士事務所登録第一種建築師事務所第1-11499号
 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

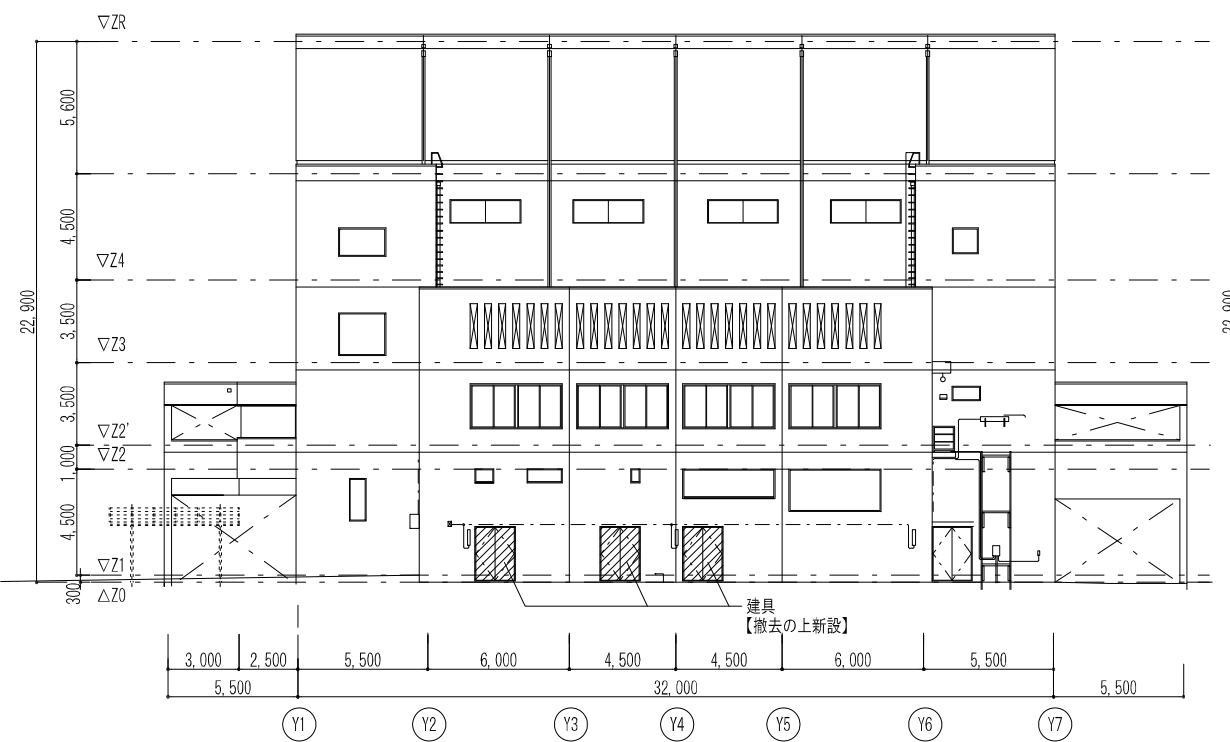
凡例
 改修箇所を示す



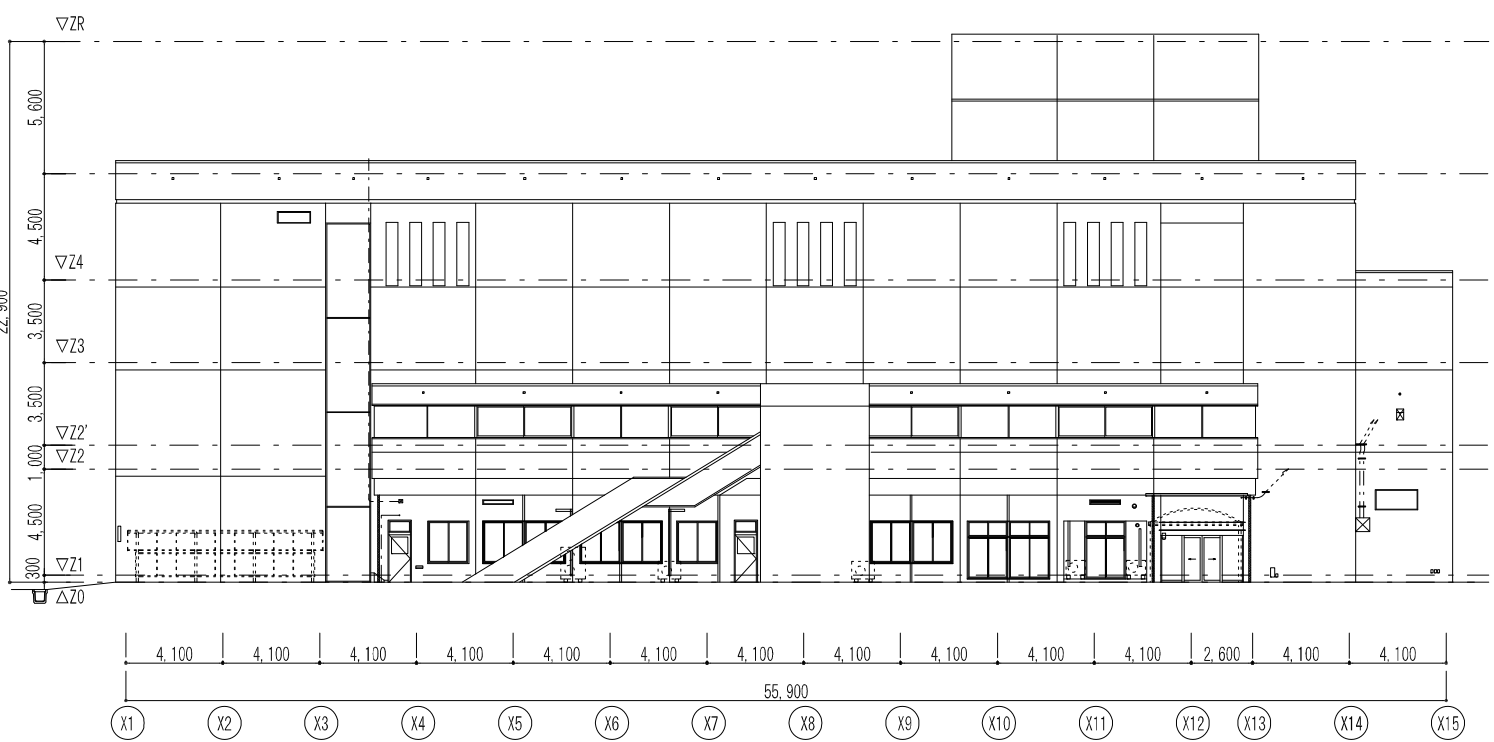
北側立面図 1/300



東側立面図 1/300

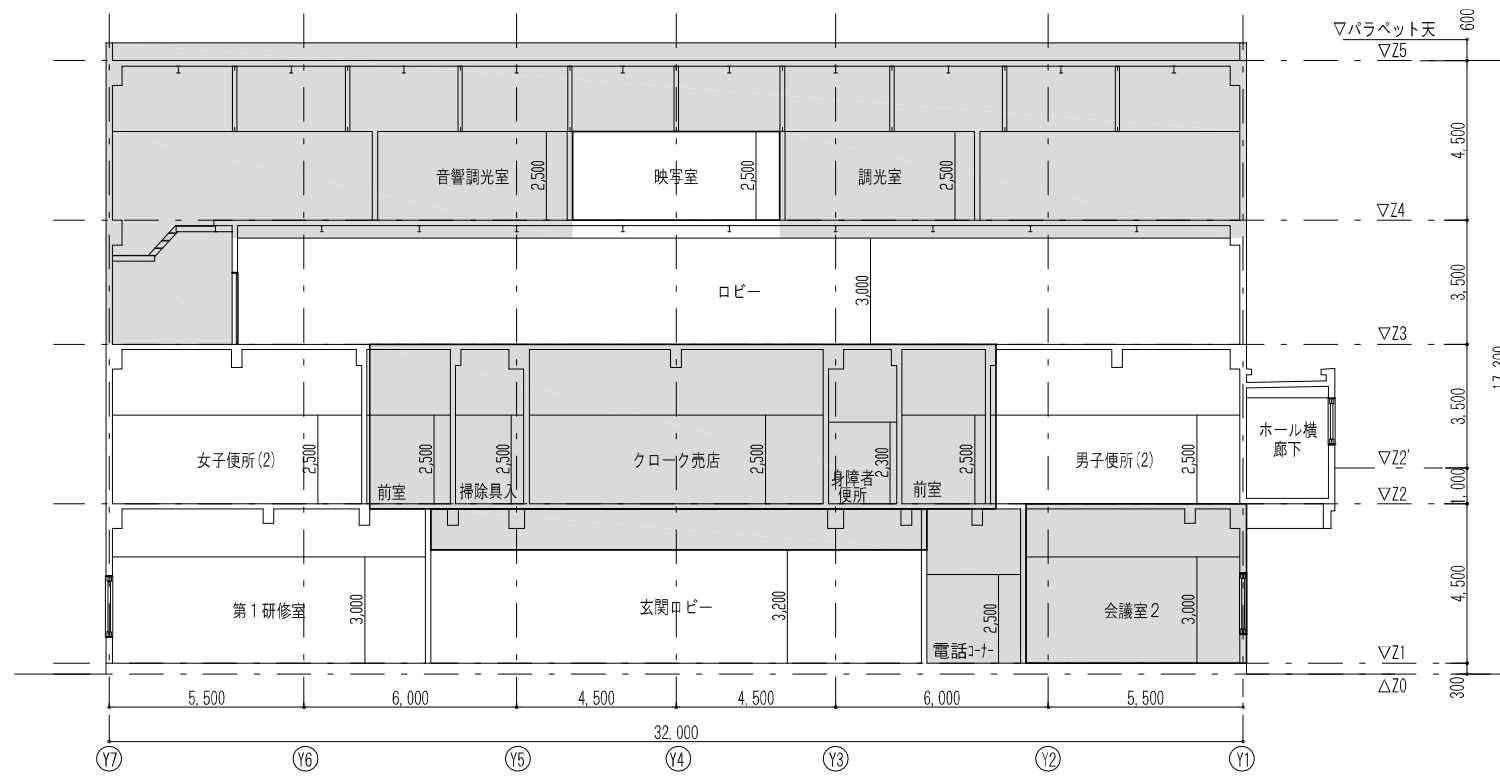


南側立面図 1/300

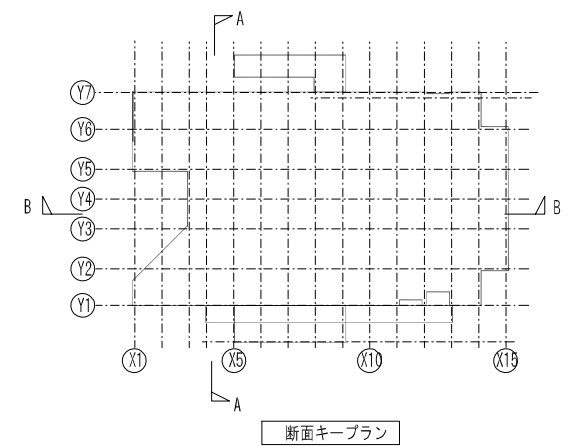


西側立面図 1/300

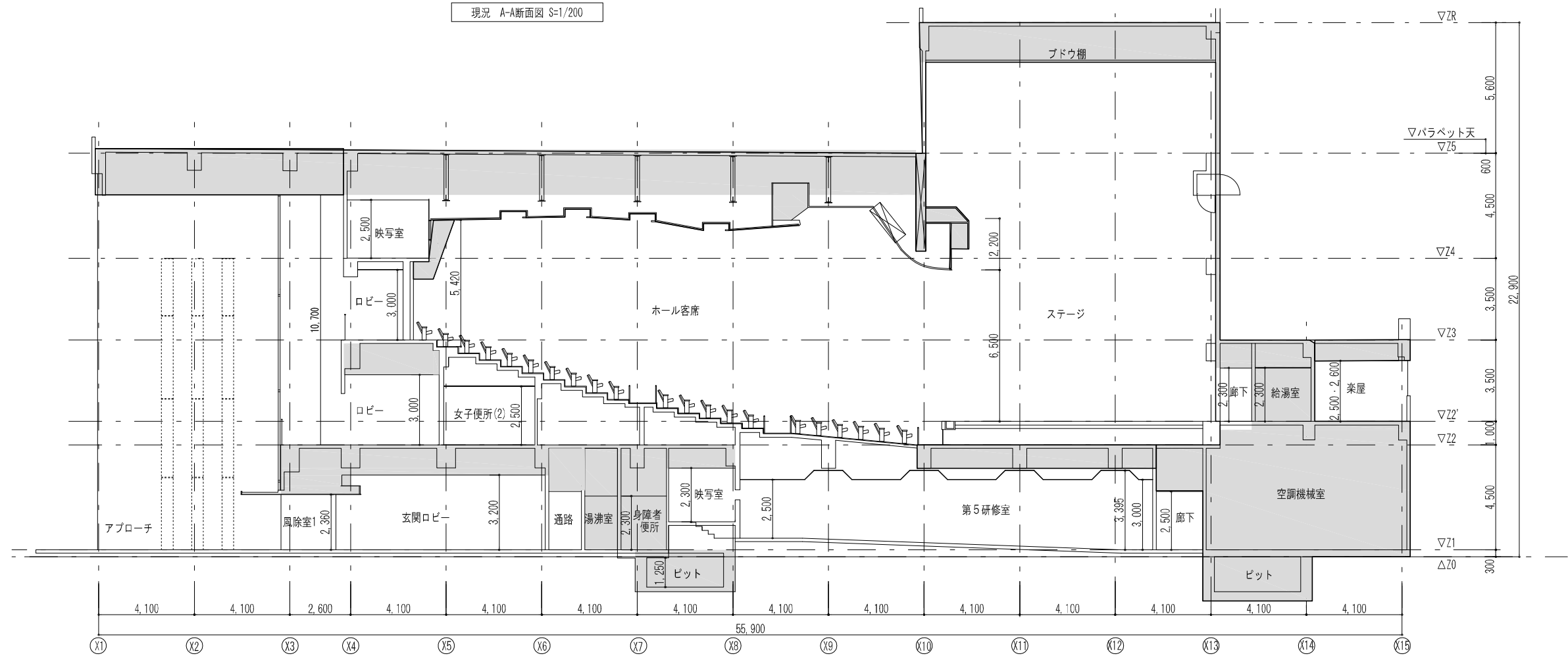
工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/18	意・構・電・設	日付	令和8年3月19日	縮尺	1/300	製図	野田 康広	検印	
図名	現況・改修後 立面図	製図	1/300	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録第一種建築師事務所第1-11439号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広							



現況 A-A断面図 S=1/200

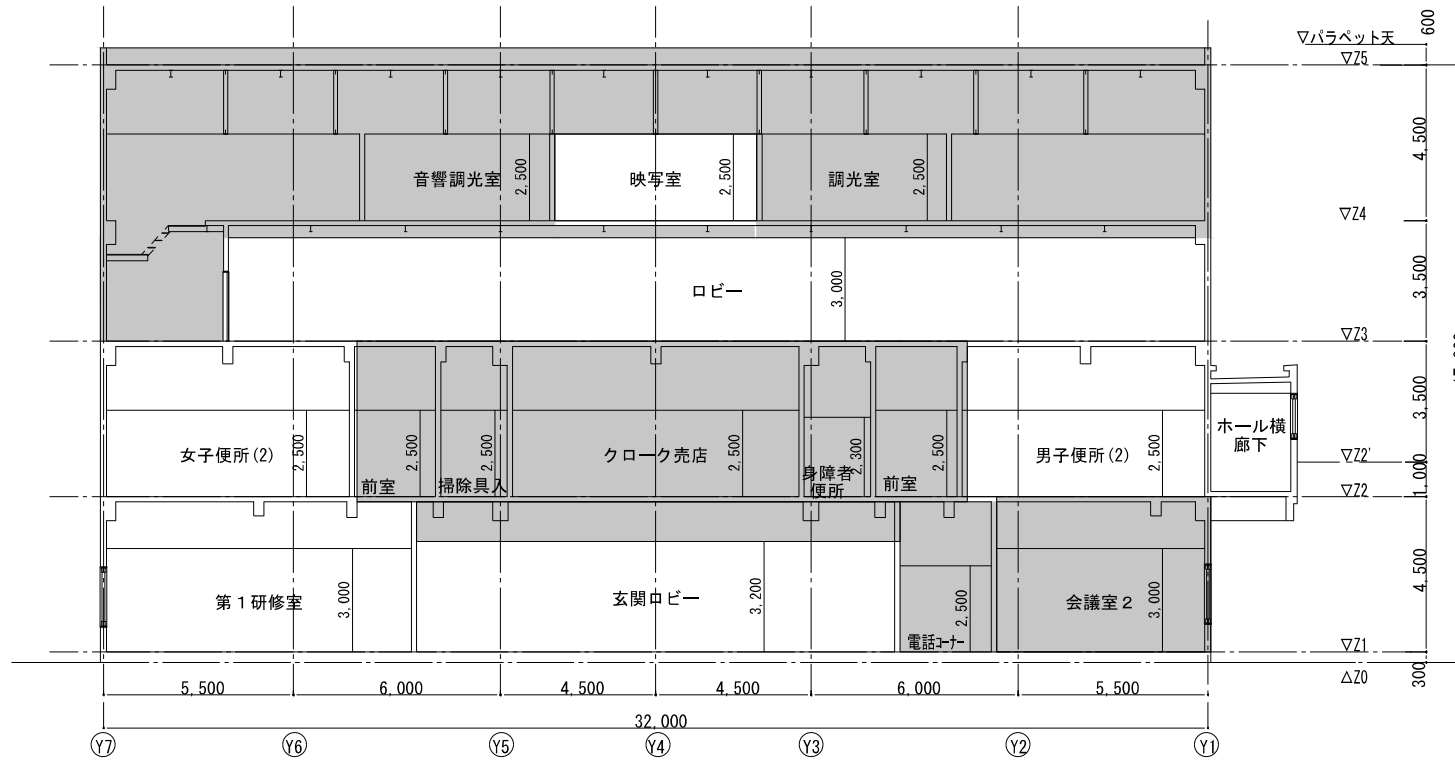


凡例
 [White box] 改修箇所を示す
 [Grey box] 工事範囲外を示す

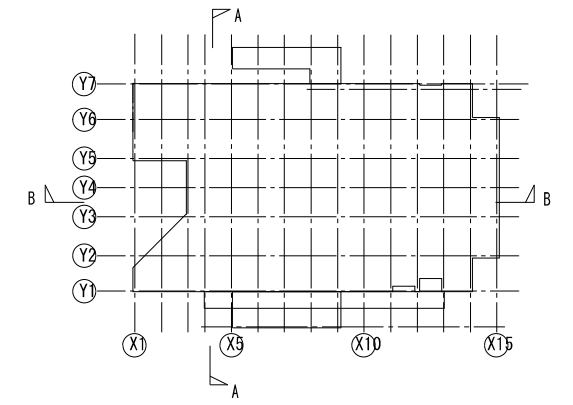


現況 B-B断面図 S=1/200

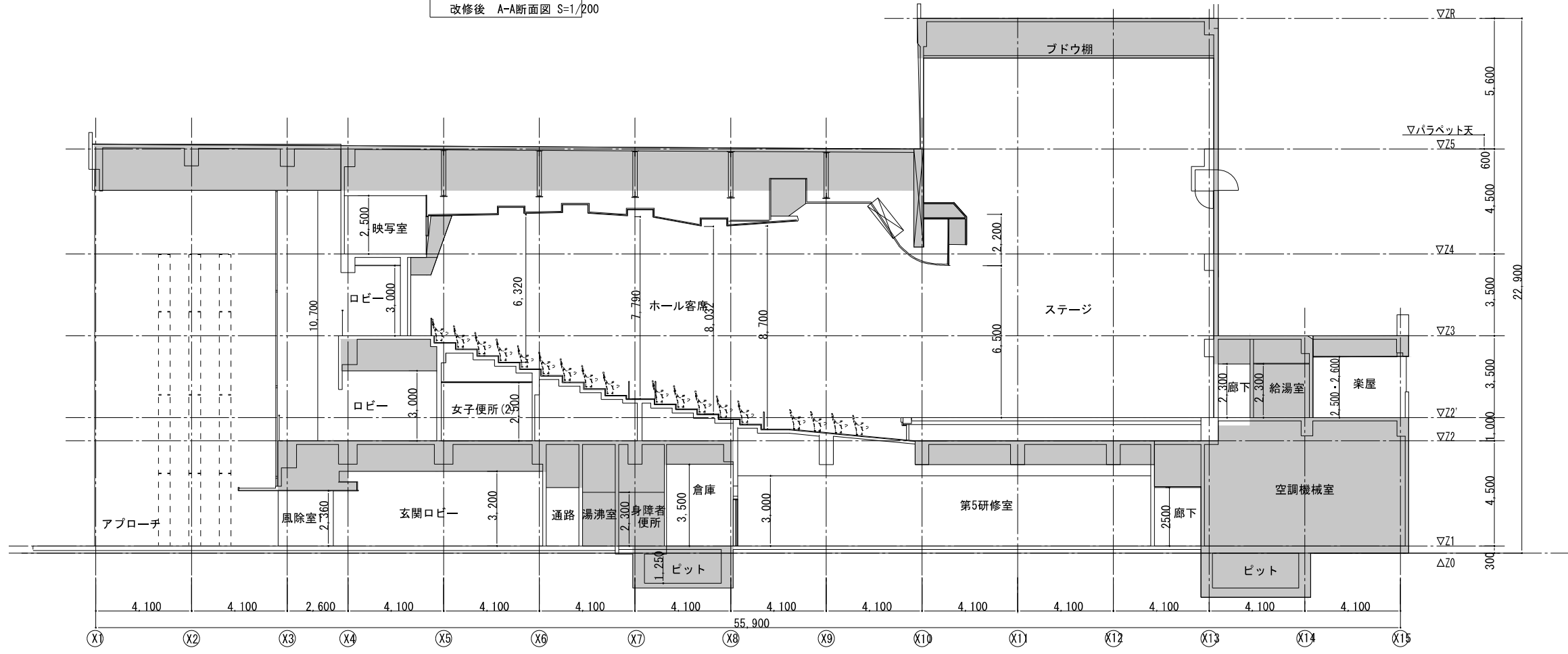
工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/19	日付	令和8年3月19日	製図		製図	
図名	現況断面図	縮尺	1/200	意・構・電・設		1級建築士事務所登録第一種建築師事務所第1-11499号		1級建築士登録大臣第350116号	野田 康広



改修後 A-A断面図 S=1/200



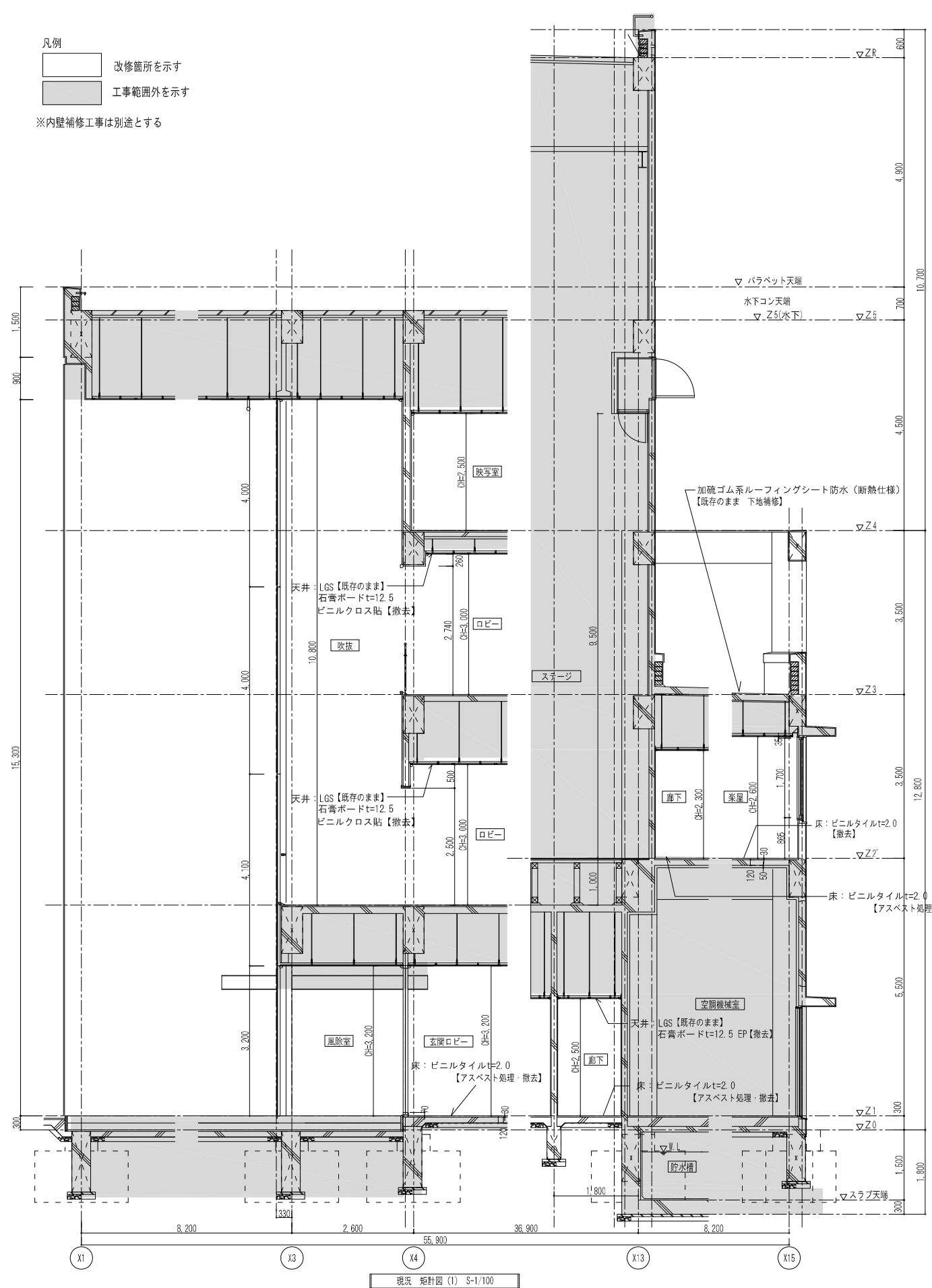
凡例
 [White box] 改修箇所を示す
 [Grey box] 工事範囲外を示す



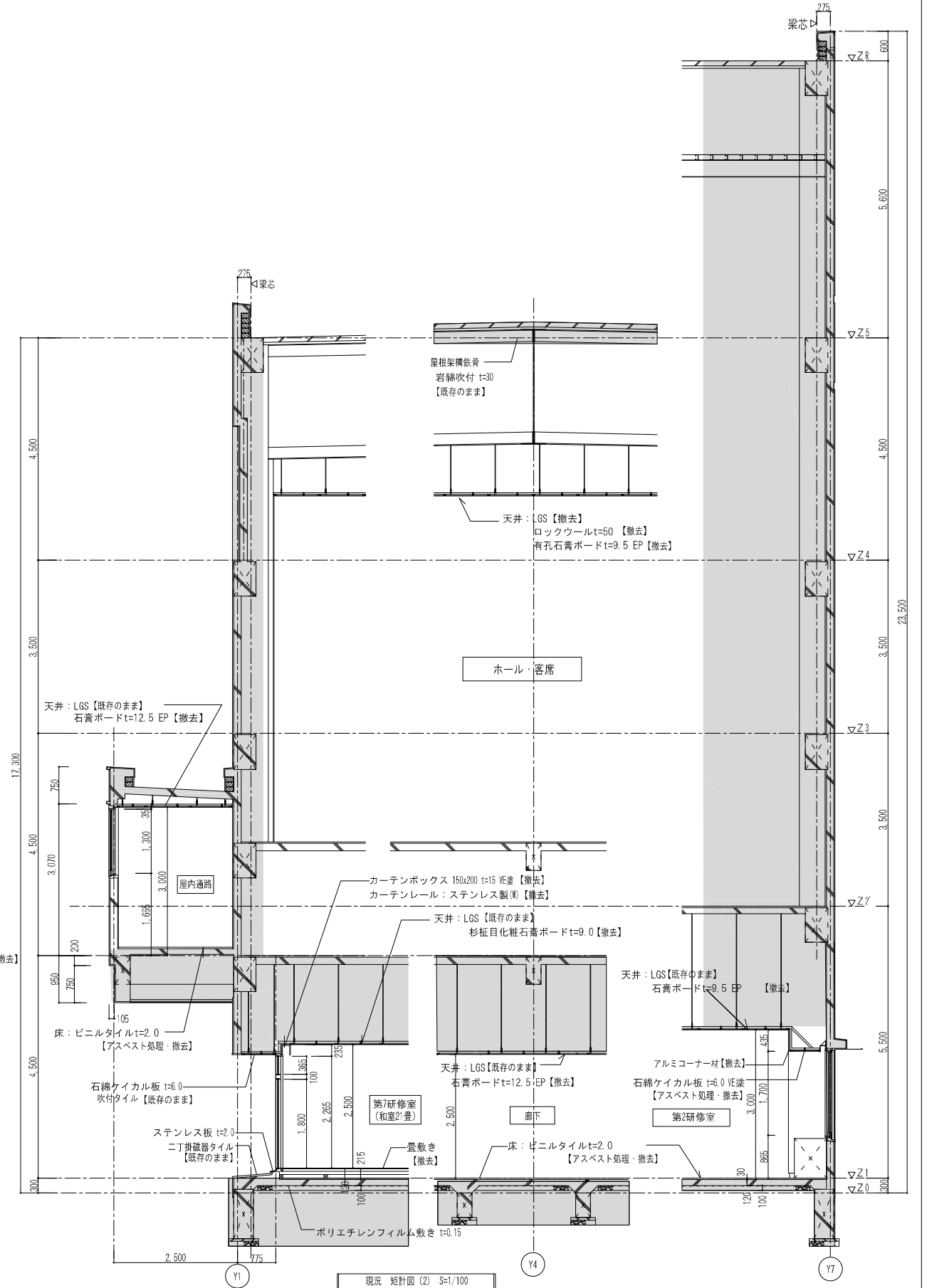
改修後 B-B断面図 S=1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事		図面番号	A/20	日付	令和8年3月19日	製図者		校核者	
	図名	改修後断面図	縮尺	1/200	意・構・電・設		株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第35016号 野田 康広			

凡例
 [白枠] 改修箇所を示す
 [黒枠] 工事範囲外を示す
 ※内壁補修工事は別途とする



現況 短計図 (1) S-1/100



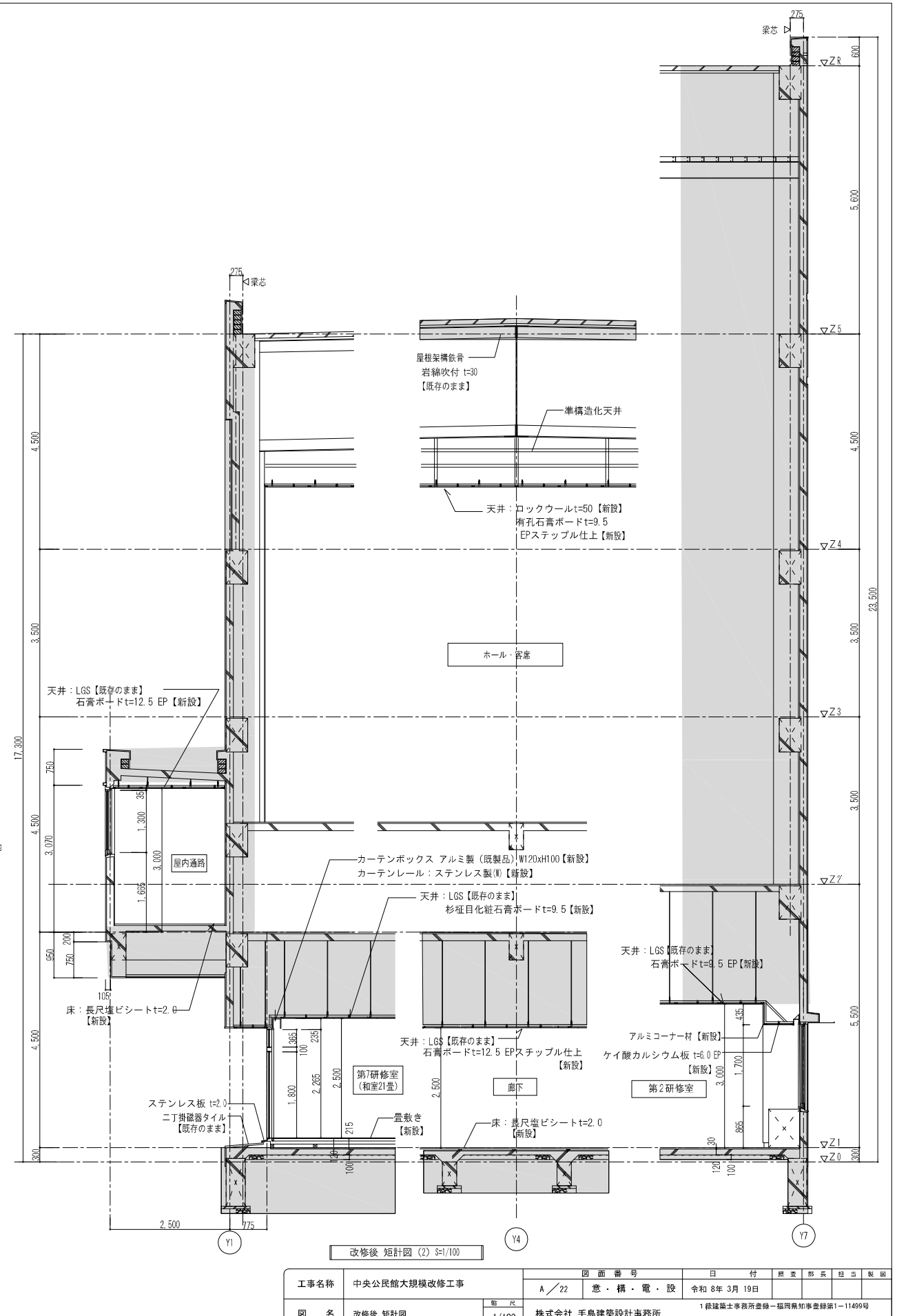
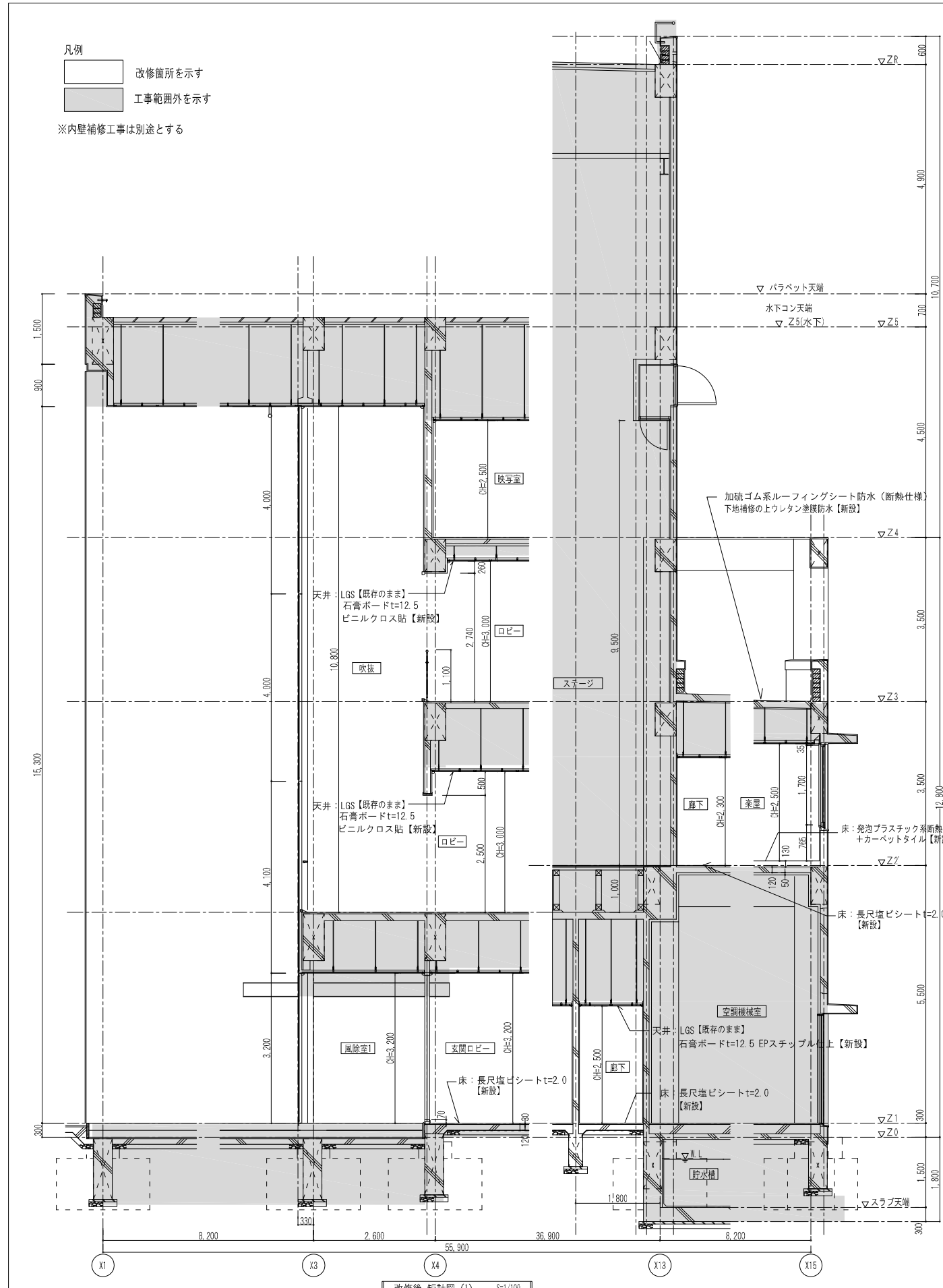
現況 短計図 (2) S=1/100

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/21	日付	令和8年3月19日	製図	
図名	現況 短計図	縮尺	1/100	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広	製図	

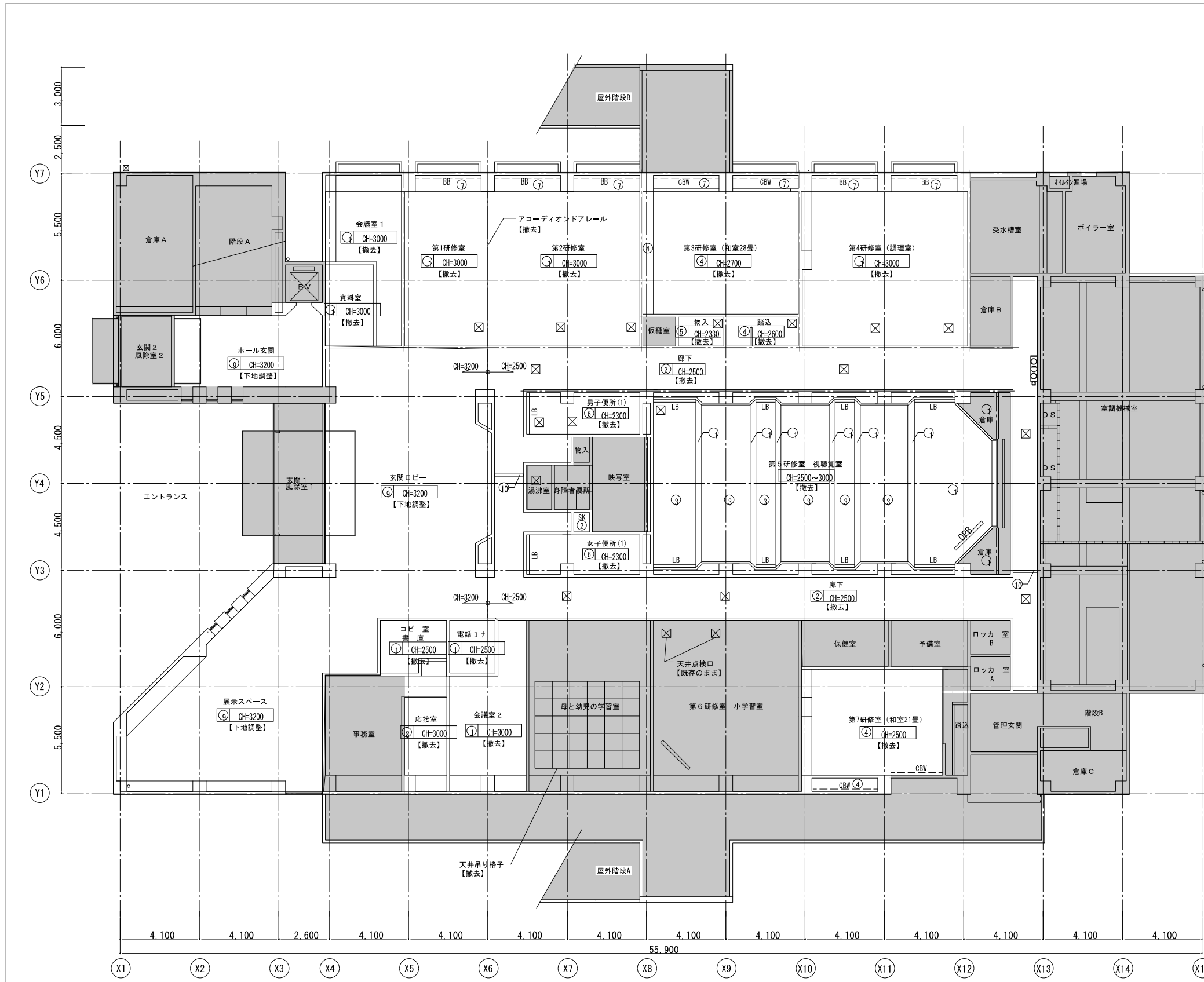
凡例

- 改修箇所を示す
- 工事範囲外を示す

※内壁補修工事は別途とする



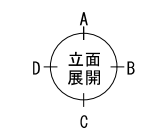
工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/22	日付	令和8年3月19日	製図	野田 康広
図名	改修後 短計図	縮尺	1/100	株式会社	手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録一福岡県和事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広	



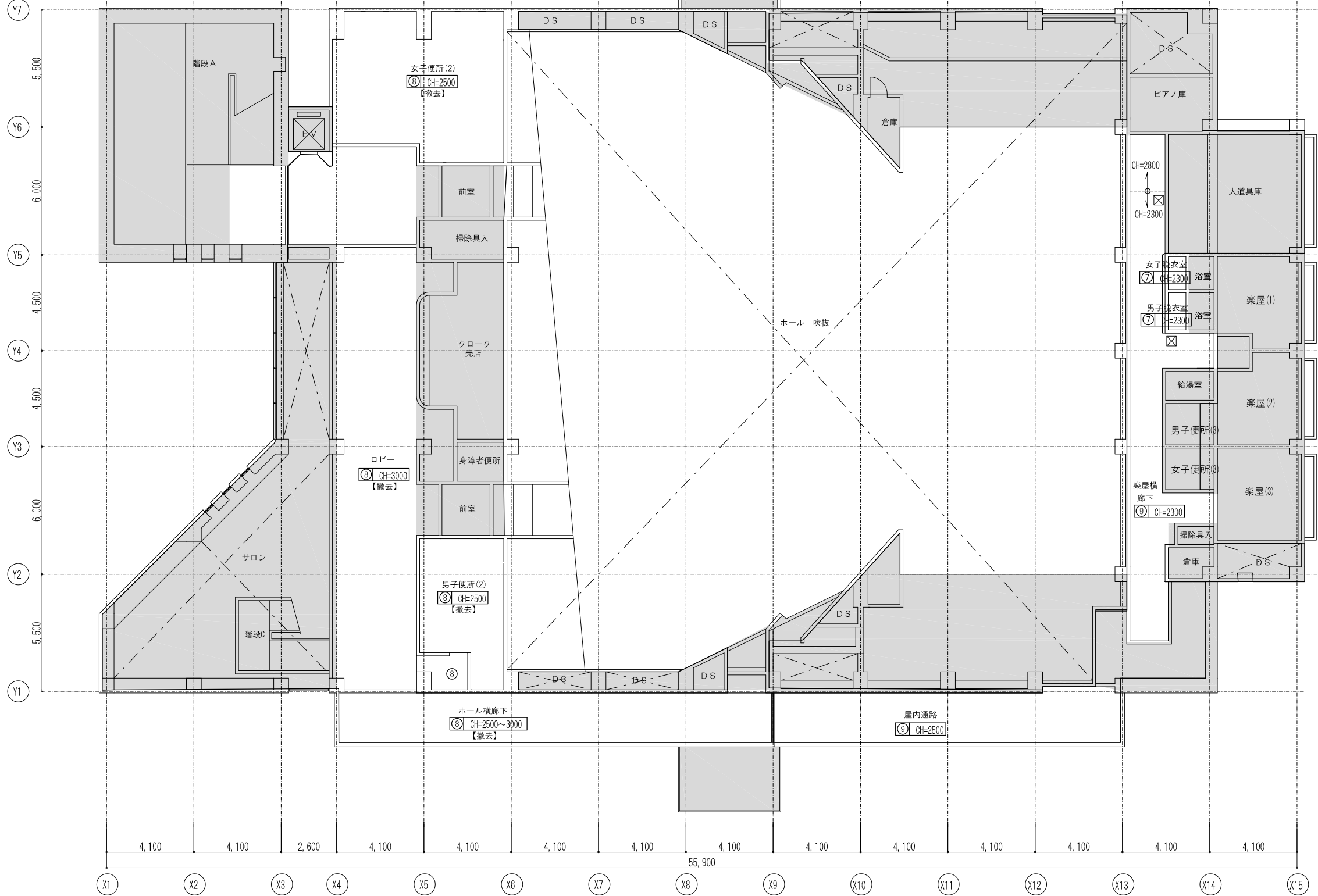
- (凡例)
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す

天井仕上	
①	石膏ボード t=9.5 EP塗【撤去】
②	石膏ボード t=12.5 EP塗 スチップル仕上【撤去】
③	ロックウール t=50 寒冷紗の上 有孔石膏ボード t=9.5 EP塗 スチップル仕上【撤去】
④	杉証化粧難燃ベニア t=3.0【撤去】
⑤	ラワンベニア t=3.0【撤去】
⑥	石綿ケイカル板 t=6.0 ビニルクロス【撤去】 【アスベスト処理の上撤去】
⑦	石綿ケイカル板 t=6.0 【アスベスト処理の上撤去】
⑧	石膏ボード t=9.5 ビニルクロス貼【撤去】
⑨	石膏ボード t=9捨張 岩綿吸音板 t=12 EP リフ付 【照明ビス穴補修】
⑩	防煙垂壁【撤去】 H=500
⑪	照明ボックス【撤去】
⑫	オーバーヘッドプロジェクター用スクリーンBOX 【撤去】
⑬	ブラインドボックス【撤去】
⑭	カーテンボックス(木製)レール【撤去】
⑮	天井点検口 450x450【撤去】

現況 1階天井伏図 S=1/200



工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/23	日付	令和 8年 3月 19日	図面製作者	
	図名	現況 1階天井伏図	縮尺	1/200	設計者	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録-福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広

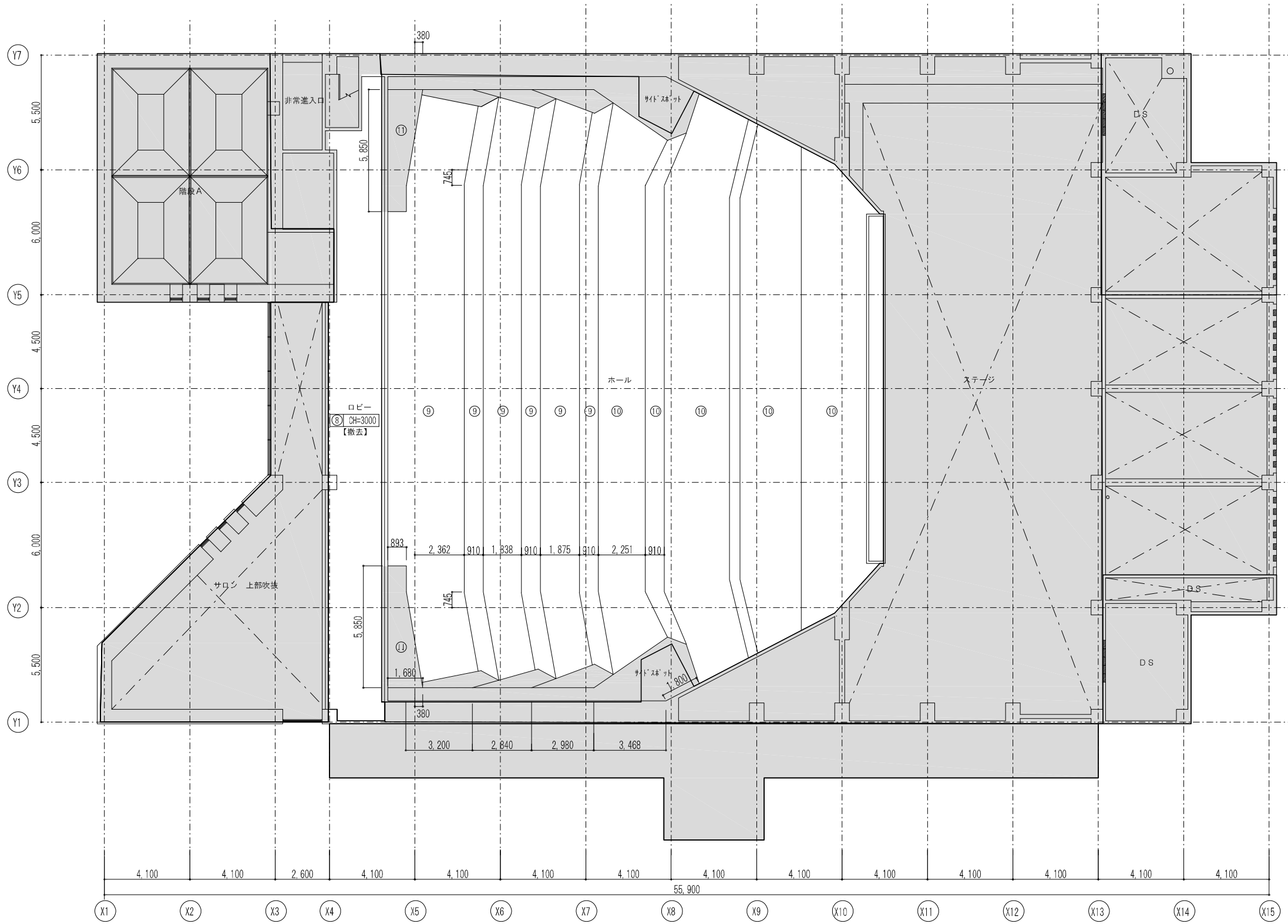


現況 2階天井伏図 S=1/200

- 〈凡例〉
- 改修箇所を示す
 - 工事範囲外を示す

天井仕上	
⑦	石綿ケイカル板 t=6.0 VE塗 【アスベスト処理の上撤去】
⑧	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス 【撤去】
⑨	石膏ボード t=9.5、EPステップル仕上 【下地補修】

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/24	日付	令和 8年 3月 19日	原案	部長	担当	製図
図名	現況 2階天井伏図	縮尺	1/200	株式会社 手島建築設計事務所 1級建築士事務所登録一福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広					

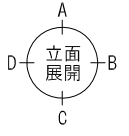


現況 3階天井伏図 S=1/200

〈 凡例 〉

- 改修箇所を示す
- 工事範囲外を示す

天井仕上	
⑧	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス 【撤去】
⑨	ロックウールt=50 寒冷紗の上 有孔石膏ボード t=9.5 EP ステップル 【撤去】
⑩	ロックウールt=50 寒冷紗貼の上石膏ボード t=9.5+9.5 ジョイントレス工法 EP塗 ステップル 【撤去】
⑪	ロックウール t=50 寒冷紗の上 有孔石膏ボード t=9.5 吹付タイル 【既存のまま】



工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/25	意・構・電・設	日付	令和 8年 3月 19日	原案	部長	担当	製図
図名	現況 3階天井伏図	縮尺	1/200	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録—福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第300116号 野田 康広					



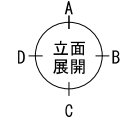
(凡例)

□ 改修箇所を示す

■ 工事範囲外を示す

開口補強	照明器具 開口補強	箇所数
照明器具 開口補強	220×650	4
照明器具 開口補強	300×1,300	22
照明器具 開口補強	150×1,300	56
照明器具 開口補強	450×450	6
照明器具 開口補強	600×600	6
天井点検口 開口補強	450×450	19
空調機 開口補強	950×650	1
空調機 開口補強	1450×650	5
空調機 開口補強	850×850	6
シーリングスピーカー開口補強	175φ	6

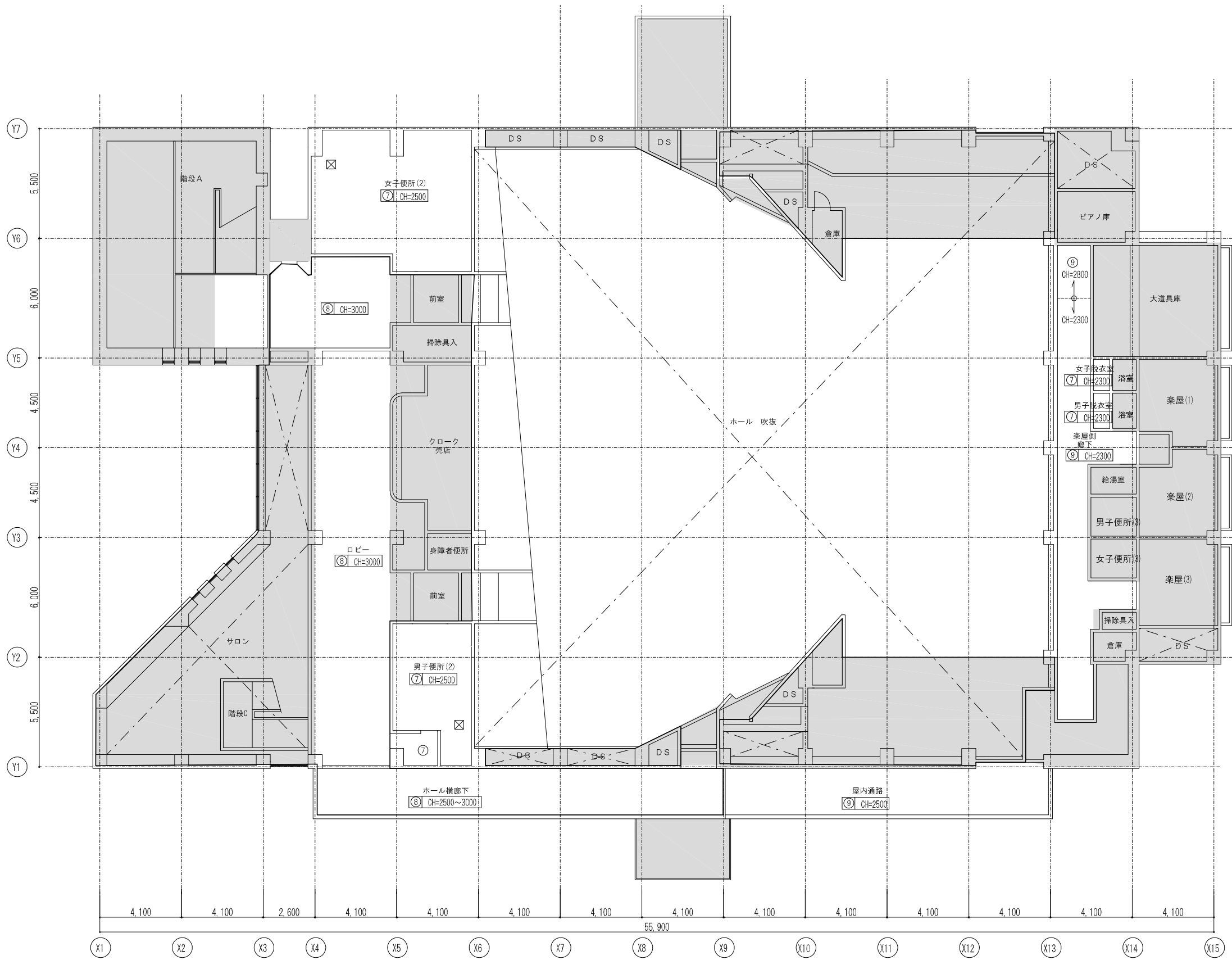
天井仕上	
①	石膏ボード t=9.5 EP塗【新設】
②	石膏ボード t=12.5 EP塗 スチップル仕上【新設】
③	杉板化粧難燃ベニア t=3.0【新設】
④	ラワンベニア t=3.0【新設】
⑤	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP塗装【新設】
⑥	EP塗【新設】
⑦	石膏ボード t=9.5 ビニルクロス貼【新設】
⑧	防煙垂壁 H=500【新設】
BB	ブラインドボックス (アルミ製)【新設】
CBW	カーテンボックス (アルミ製) レール【新設】
☒	天井点検口 450x450【新設】



改修後 1階天井伏図 S=1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/26	意・構・電・設	日付	令和8年3月19日	図面製図	
図名	改修後 1階天井伏図	縮尺	1/200	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録—福岡県知事登録第1—11499号 1級建築士登録大臣第350116号 野田 康広			

※ 特記の寸法以外は左記のとおり

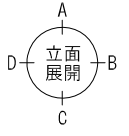


(凡例)

- 改修箇所を示す
- 工事範囲外を示す

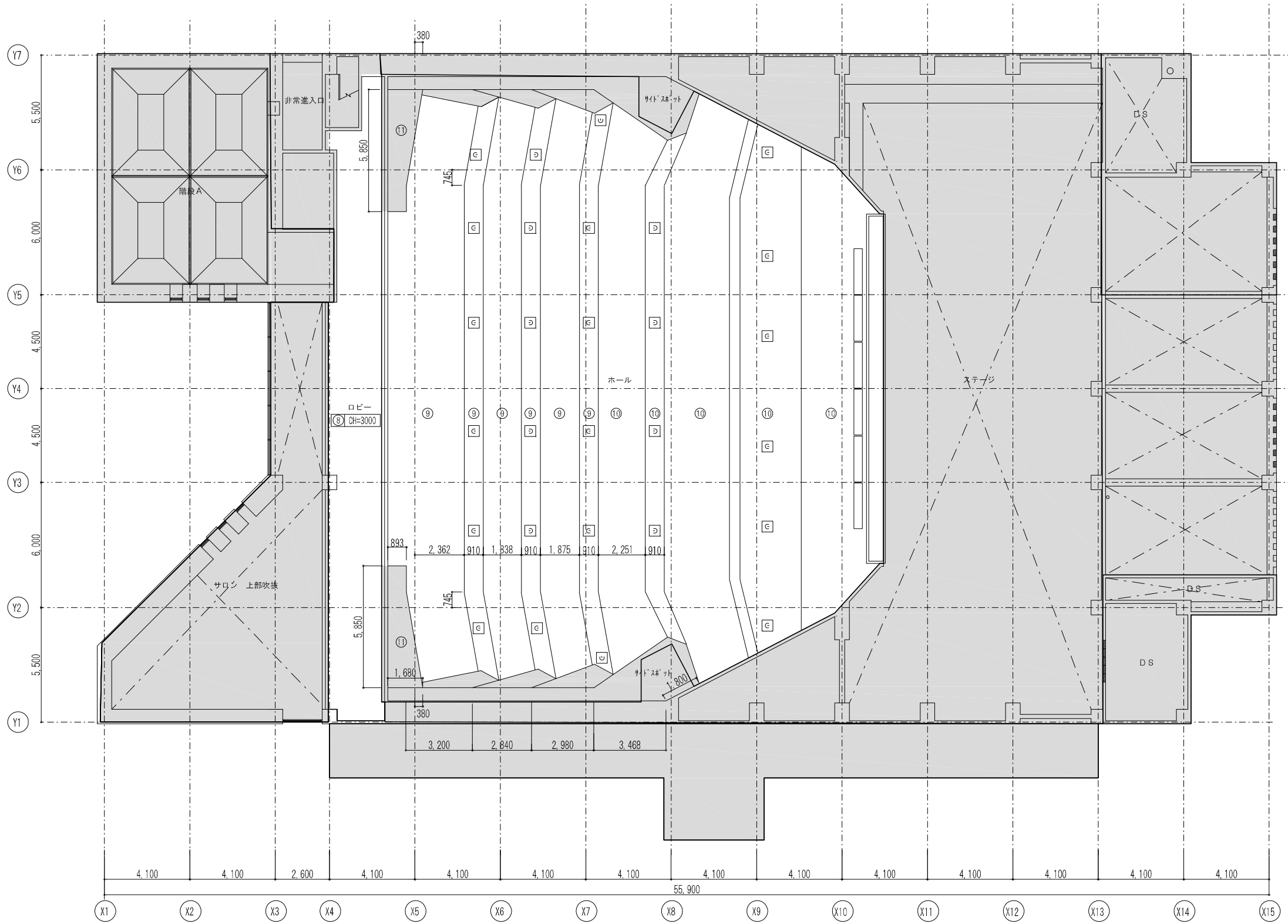
開口補強	箇所数
☒	天井点検口 開口補強 450×450 2

天井仕上	
⑦	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP塗装【新設】
⑧	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼【新設】
⑨	EP塗装【新設】



改修後 2階天井伏図 S=1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/27	日付	令和8年3月19日	製図	野田 康広
図名	改修後 2階天井伏図	縮尺	1/200	意・構・電・設		製図	野田 康広
		株式会社 手島建築設計事務所		1級建築士事務所登録—福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第300116号 野田 康広			



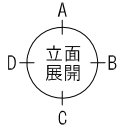
(凡例)

- 改修箇所を示す
- 工事範囲外を示す

開口補強	開口補強	箇所数
□	空調吹出口 開口補強 550×550	28
□	空調吹出口 開口補強 12120×140	1

天井仕上	
⑧	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス【新設】
⑨	ロックウールt=50 寒冷紗の上 有孔石膏ボード t=9.5 EP ステップル【新設】
⑩	ロックウールt=50 寒冷紗貼の上石膏ボード t=9.5+9.5 ジョイントレス工法 EP塗 ステップル【新設】
⑪	ロックウールt=50 寒冷紗の上 有孔石膏ボード t=9.5 吹付タイル【既存のまま】

- [特記]
1. 吸音面、有孔ボード部はロックウール寒冷紗との間に50の空気層を設けること。
 2. 壁・天井の反対面のLS補強は各階毎に行い、胴縁ピッチは300以下とする。
 3. 有孔ボードの開口率は15%内外とする。



改修後 3階天井伏図 S-1/200

工事名称	中央公民館大規模改修工事	図面番号	A/28	意・構・電・設	日付	令和8年3月19日	照査	部長	担当	製図
図名	改修後 3階天井伏図	前尺	1/200	株式会社 手島建築設計事務所	1級建築士事務所登録—福岡県知事登録第1-11499号 1級建築士登録大臣第300116号 野田 康広					